

# **県内の交通事故の現状 (令和7年)**

**鹿児島県警察本部交通部  
交通企画課統計分析係**

**－ 2026.1 －**

# 目次

1	県内の交通事故の推移（過去10年間）	P2
2	四輪車乗車中の死傷者の状況について	P4
3	二輪車乗車中の死傷者の状況について	P5
4	自転車乗用中の死傷者の状況について	P7
4 - 1	自転車乗用中死傷者のヘルメット着用状況について	P8
5	歩行中死傷者の状況について	P9
5 - 1	歩行中死傷者の状況について（高齢者）	P12
6	こどもの事故の状況について	P14
7	反射材着用状況について	P19
8	高齢運転者事故（第1当一般原付以上）の状況について	P20
9	飲酒運転事故（第1当一般原付以上）の状況について	P24
10	外国人運転事故の状況について	P25
11	自転車関連交通事故について	P26

# 1 県内の交通事故の推移（過去10年間）

- 発生件数、死者、負傷者数は前年に比べ**減少**する。（図1）
- 状態別では、死者については**歩行中が最も多く**、死傷者は**自動車乗車中が最も多い**。（図2、図3）
- 高齢死者は、平成15年以降、23年連続で死者の過半数を占め、令和7年中の高齢死者は死者全体の**約70.5%**を占める。（図4）
- 第1当高齢運転者による人身事故の構成率は、過去10年間で緩やかに増加し、令和7年中の構成率は約33.9%を占め、交通死亡事故の構成率は約44.2%を占める。（図5）

図1 発生件数、負傷者数、死者数の推移

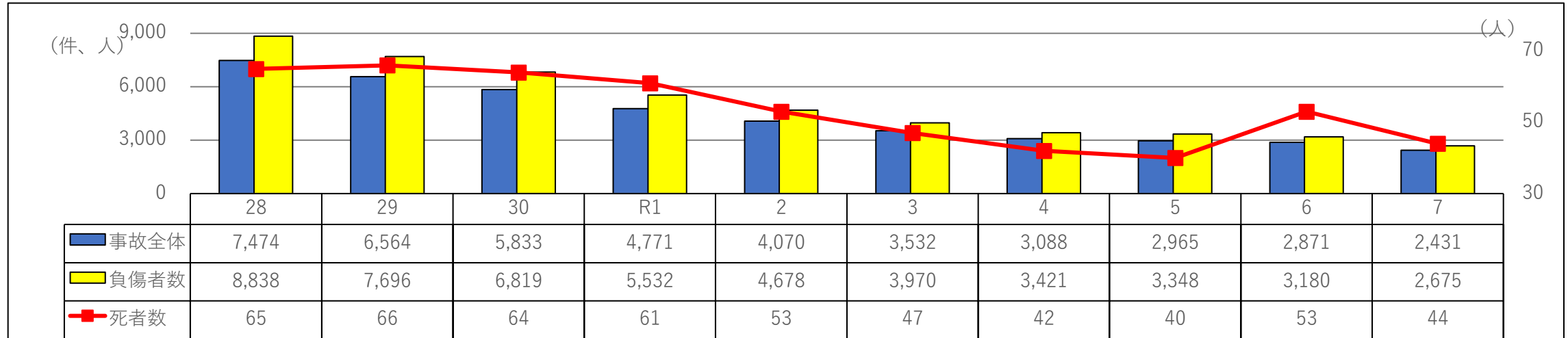


図2 状態別死者数(R7)

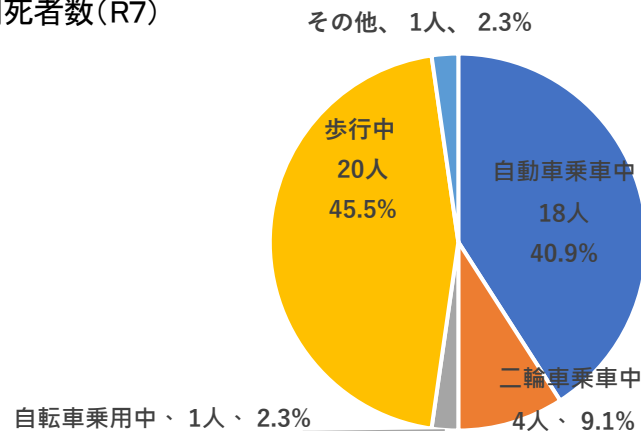


図3 状態別死傷者数(R7)

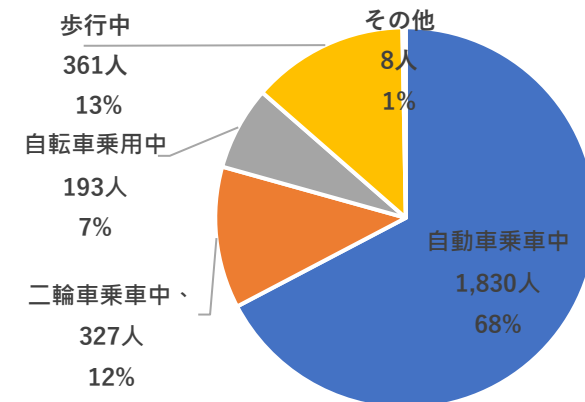


図4 死者全体に占める高齢死者の構成率の推移

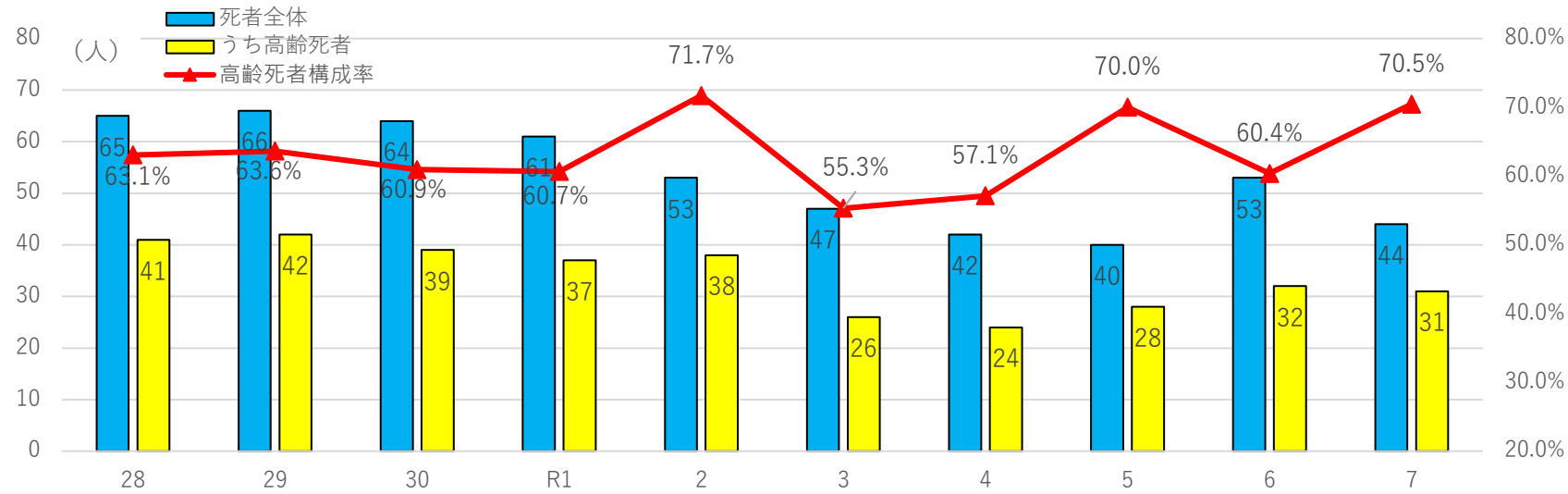
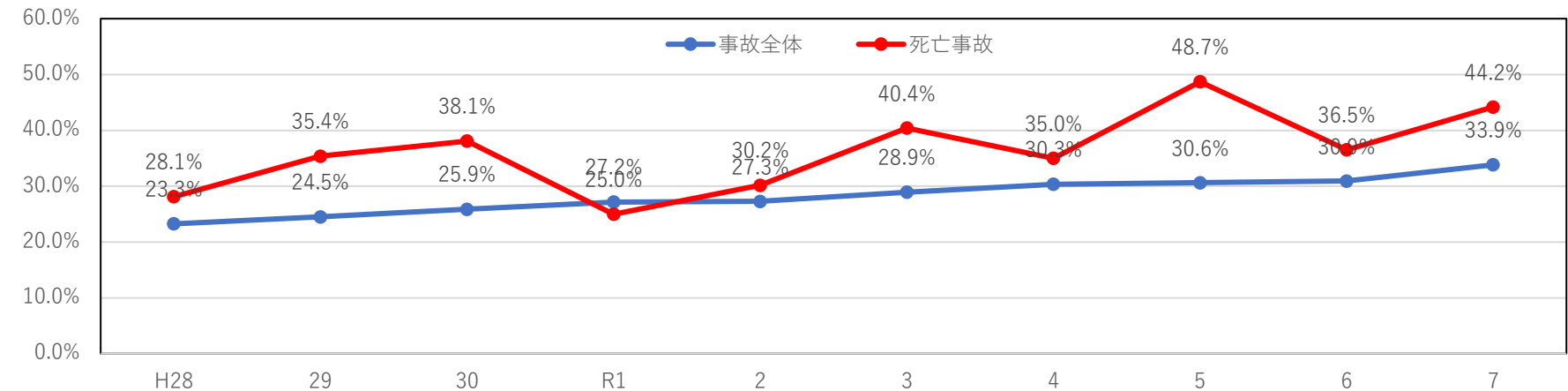


図5 第1当高齢運転者による構成率の推移(一般原付以上)



区分/年別	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
事故全体	7,474	6,564	5,833	4,771	4,070	3,532	3,088	2,965	2,871	2,431
うち高齢運転者	1,739	1,608	1,510	1,296	1,111	1,022	937	908	888	823
構成率	23.3%	24.5%	25.9%	27.2%	27.3%	28.9%	30.3%	30.6%	30.9%	33.9%
死亡事故	64	65	63	56	53	47	40	39	52	43
うち高齢運転者	18	23	24	14	16	19	14	19	19	19
構成率	28.1%	35.4%	38.1%	25.0%	30.2%	40.4%	35.0%	48.7%	36.5%	44.2%

## 2 四輪車乗車中の死傷者の状況について

- 死傷者数、死者数は前年より減少する。（図1）
- 年代別の死傷者は40歳代が最も多く、次いで30歳代、50歳代が多い。（図2）
- 時間帯別の死傷者は16～17時台が最も多く、次いで8～9時台が多い。（図3）

図1

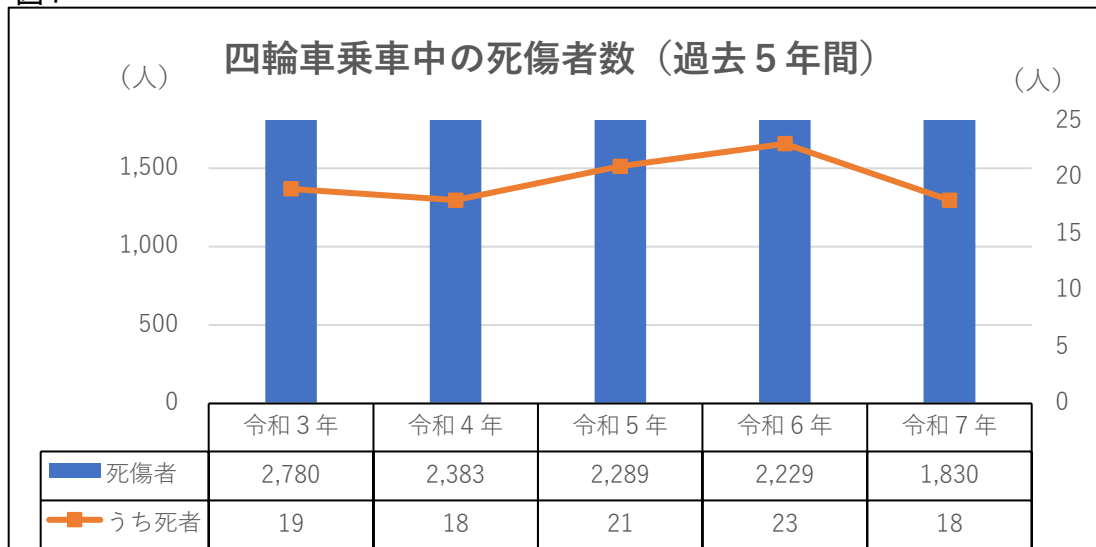


図2

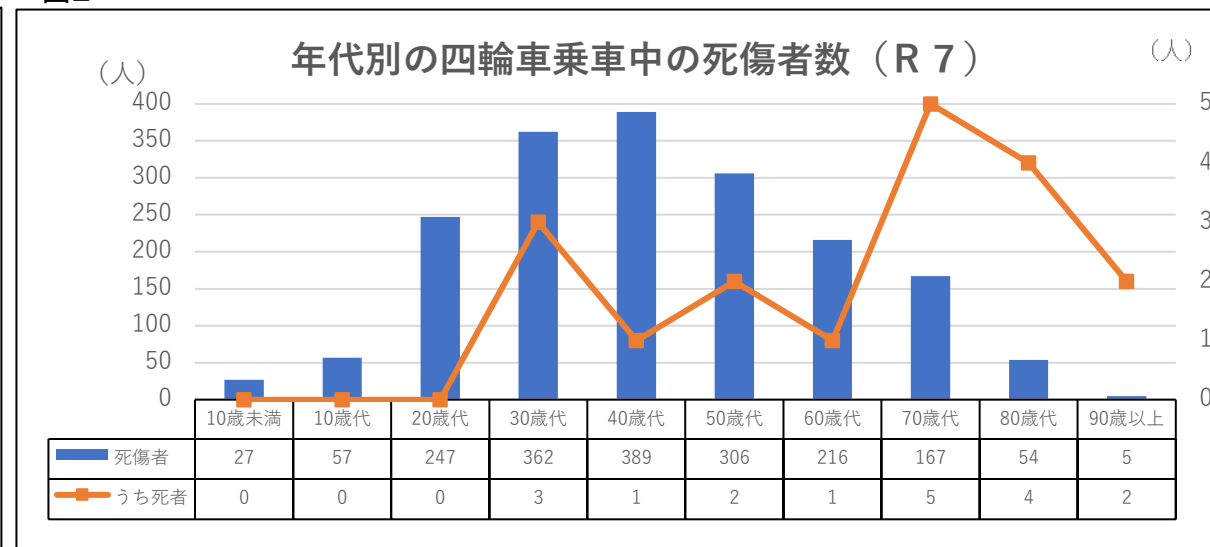
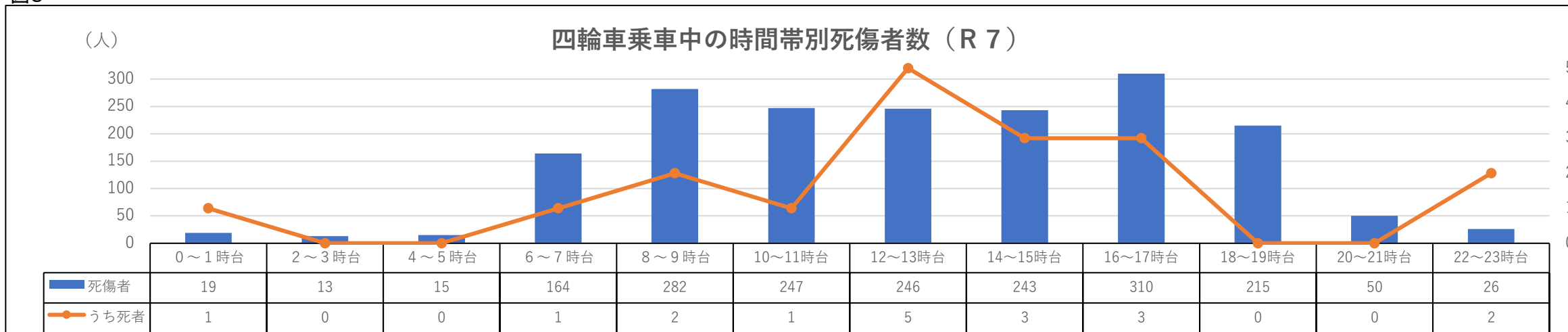


図3



### 3 二輪車乗車中の死傷者の状況について

- 死傷者数、死者数は過去5年で**最小**。(図1)
- 当事者別の死傷者は、**一般原付が最も多く**、次いで**原付二種**が多い。(図2)
- 年代別の死傷者は**10歳代が最も多く**、次いで**20歳代、40歳代**が多い。(図3)
- 二輪車関連事故の時間帯別発生件数は**16～17時台が最も多く**、次いで**8～9時台、18～19時台**の順が多い。(図4)

図1

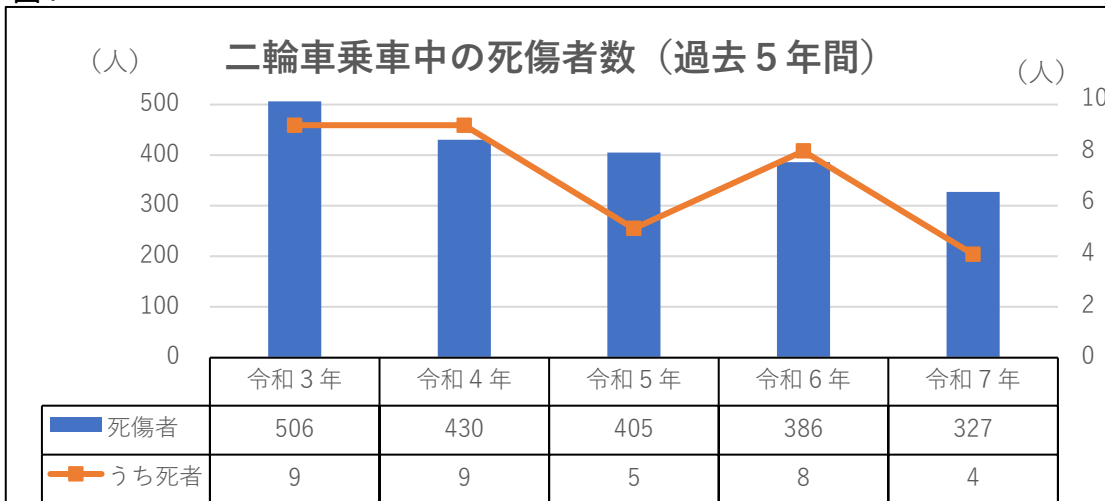


図2

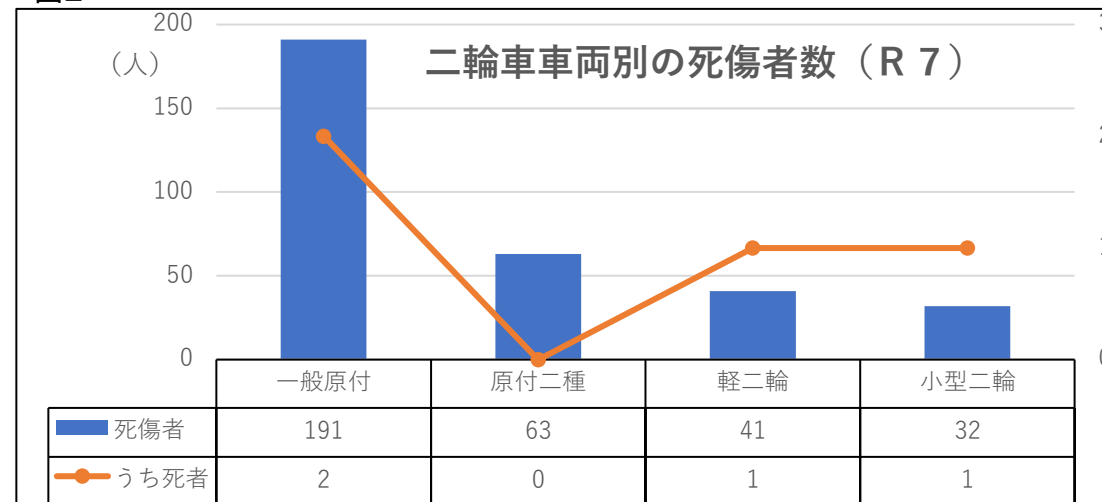


図3

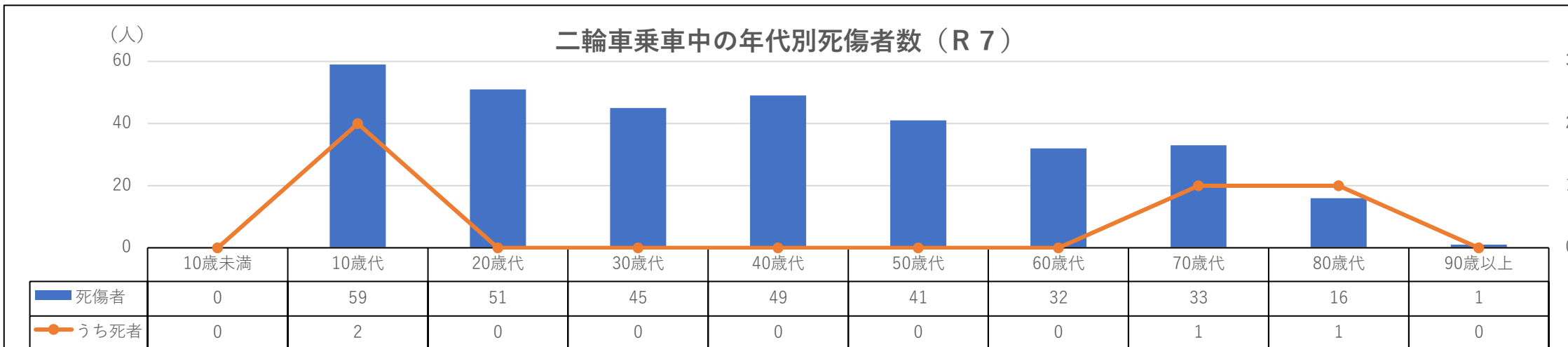
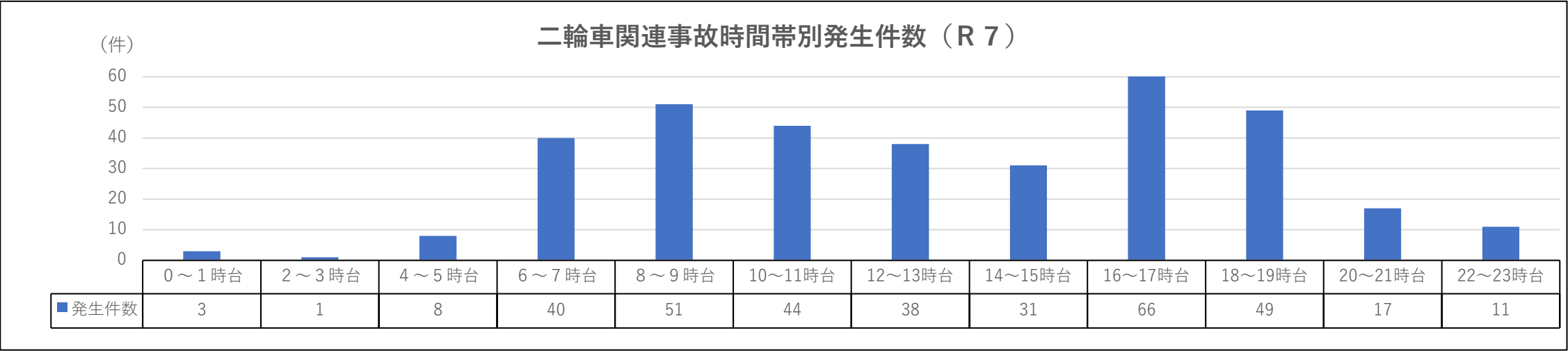


図4



## 4 自転車乗用中の死傷者の状況について

- 死傷者数は過去5年で**最小**。（図1）
- 年代別の死傷者は**10歳代が最も多く**、次いで**20歳代**が多い。（図2）
- 時間帯別の発生件数は**16～17時台が最も多く**、次いで**6～7時台、12～13時台**の順が多い。（図3）

図1

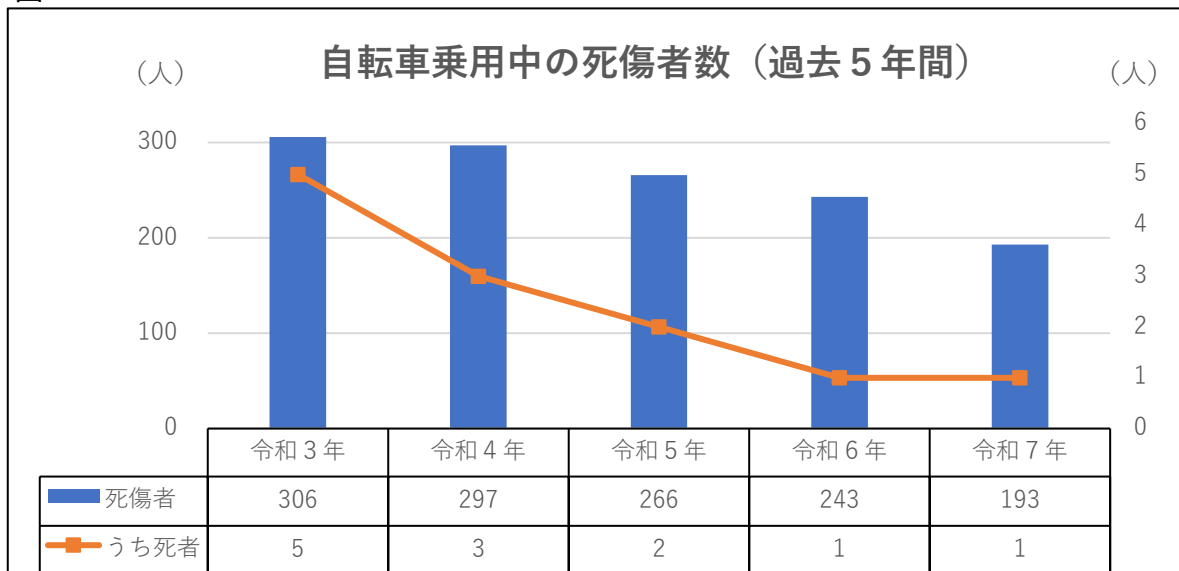


図2

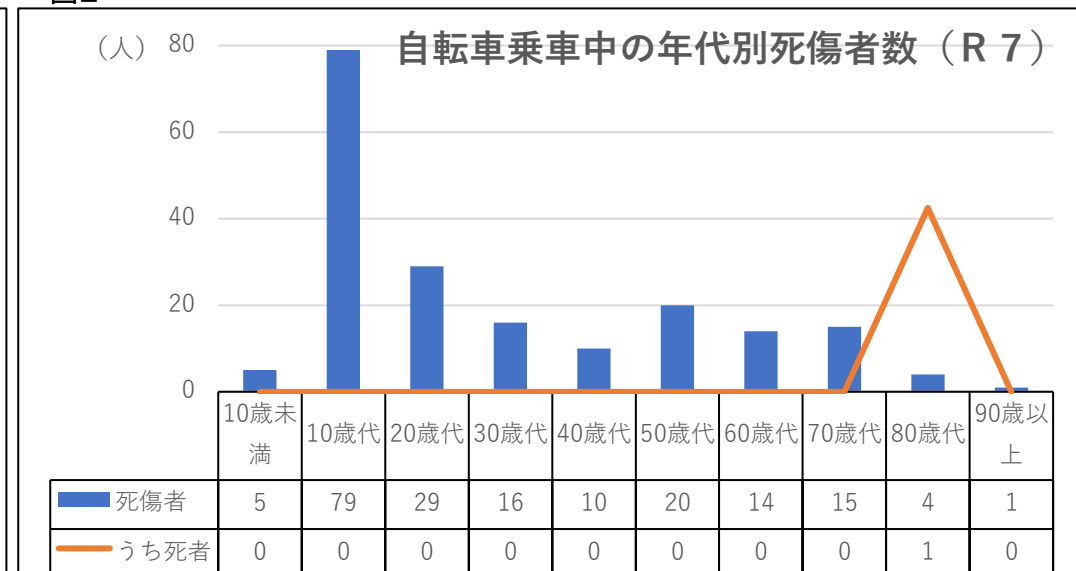
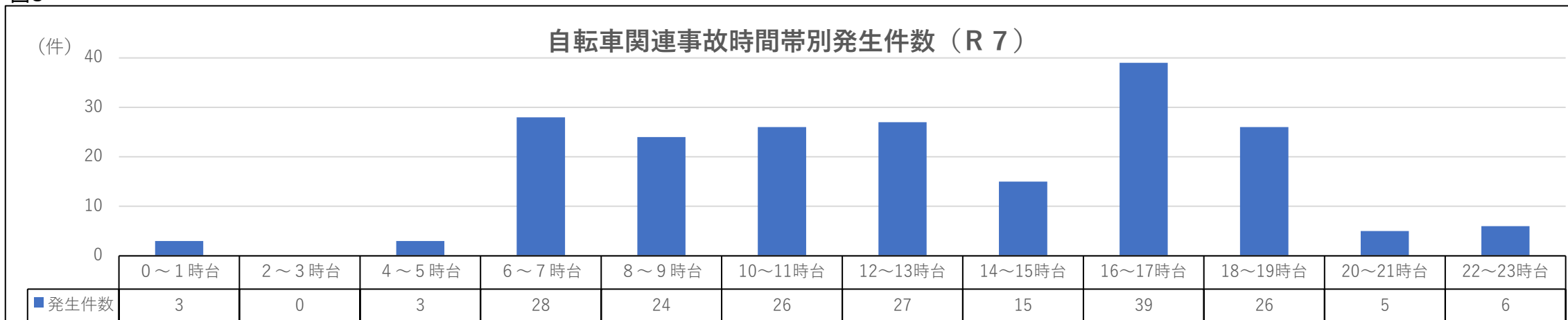


図3

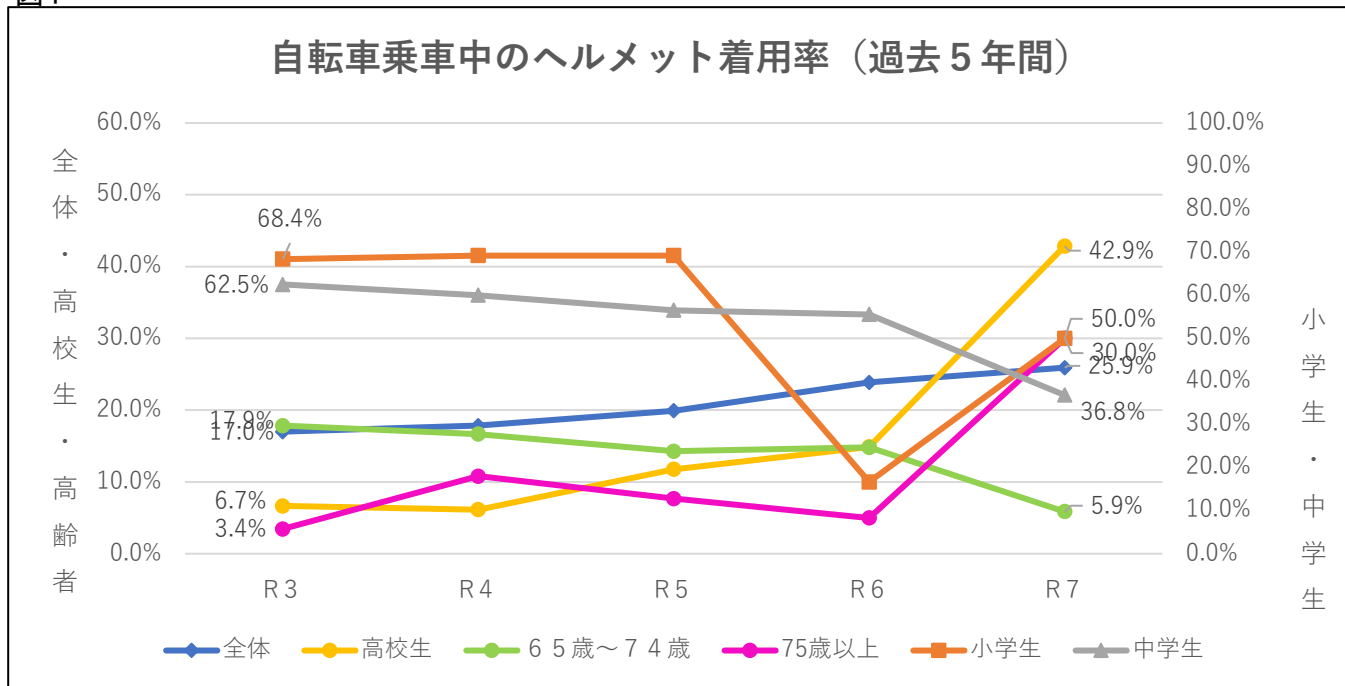




# 4-1 自転車乗用中死傷者のヘルメット着用状況について

- 全体の着用率は25.9%で、前年より2.0%増加する。（図1、表1）
- 小学生のヘルメット着用率は50.0%で、前年より33.3%増加する。（図1、表1）
- 中学生のヘルメット着用率は36.8%で、前年より18.8%減少する。（図1、表1）
- 高校生のヘルメット着用率は42.9%で、前年より28.0%増加する。（図1、表1）

図1



	全体	小学生	中学生	高校生	65歳～74歳	75歳以上
R3	17.0%	68.4%	62.5%	6.7%	17.9%	3.4%
R4	17.8%	69.2%	60.0%	6.2%	16.7%	10.8%
R5	19.9%	69.2%	56.5%	11.8%	14.3%	7.7%
R6	23.9%	16.7%	55.6%	14.9%	14.8%	5.0%
R7	25.9%	50.0%	36.8%	42.9%	5.9%	30.0%

※「着用不明」は「非着用」として集計した。

全体	死傷者	ヘルメット着用	着用率
R3	306	52	17.0%
R4	297	53	17.8%
R5	266	53	19.9%
R6	243	58	23.9%
R7	193	50	25.9%
小学生	死傷者	ヘルメット着用	着用率
R3	19	13	68.4%
R4	13	9	69.2%
R5	13	9	69.2%
R6	6	1	16.7%
R7	10	5	50.0%
中学生	死傷者	ヘルメット着用	着用率
R3	24	15	62.5%
R4	20	12	60.0%
R5	23	13	56.5%
R6	18	10	55.6%
R7	19	7	36.8%
高校生	死傷者	ヘルメット着用	着用率
R3	45	3	6.7%
R4	65	4	6.2%
R5	51	6	11.8%
R6	47	7	14.9%
R7	42	18	42.9%
65歳～74歳	死傷者	ヘルメット着用	着用率
R3	28	5	17.9%
R4	24	4	16.7%
R5	21	3	14.3%
R6	27	4	14.8%
R7	17	1	5.9%
75歳以上	死傷者	ヘルメット着用	着用率
R3	29	1	3.4%
R4	37	4	10.8%
R5	26	2	7.7%
R6	20	1	5.0%
R7	10	3	30.0%

## 5 歩行中死傷者の状況について

- 死傷者数、死者数はともに前年より減少する。（図1）
- 年代別の死傷者は、70歳代が最も多く、次いで80歳代が多い。（図2）
- 道路形状別の死傷者は、交差点が最も多く、路線別では市町村道、時間帯別では18～19時台が最も多い。（図3、4、5）
- 夜間の致死率は、昼間の2倍である。（図6）
- 横断方向別の死傷者は、昼間は左から右が多く、夜間は右から左が多い。（図9）

図1

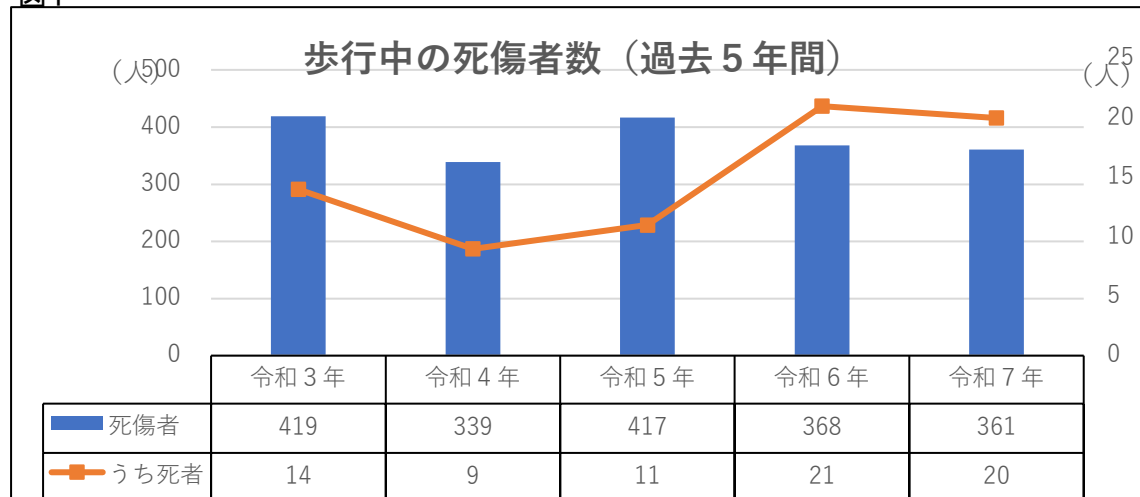


図2

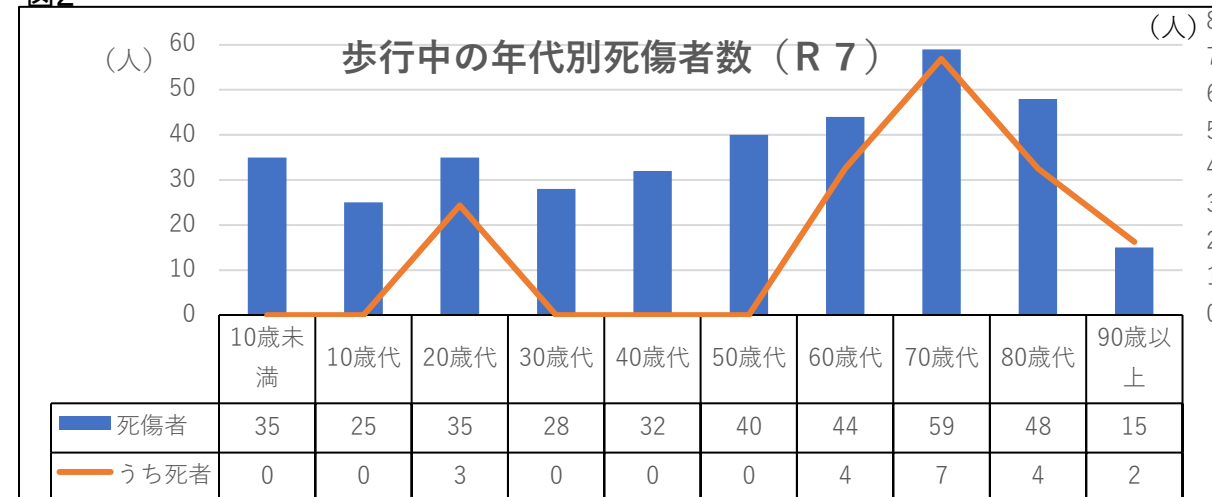


図3

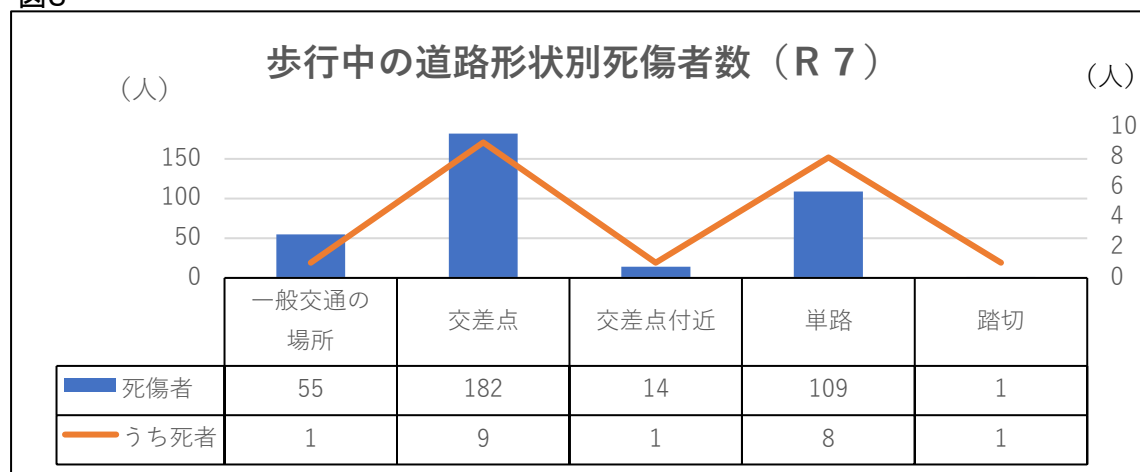


図4

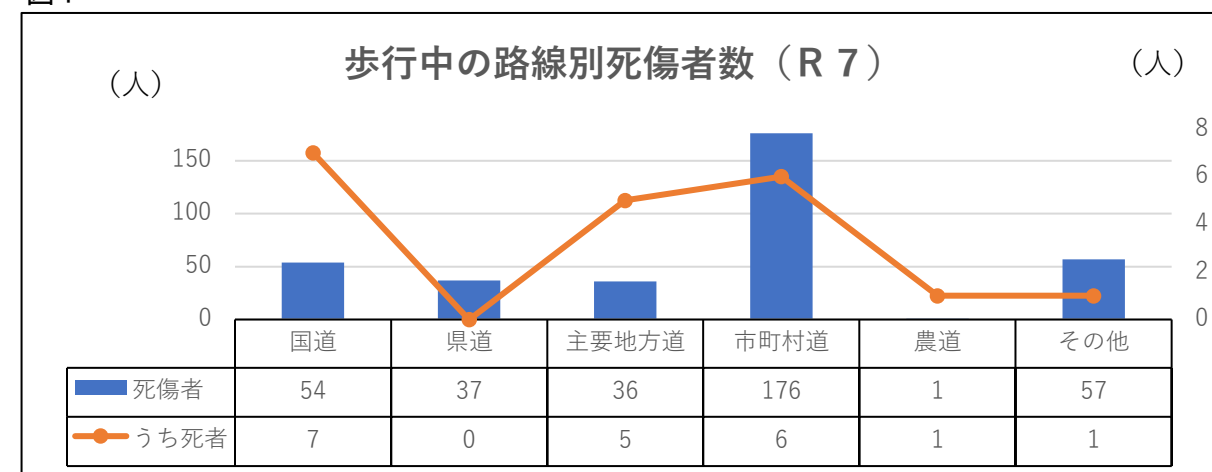


図5

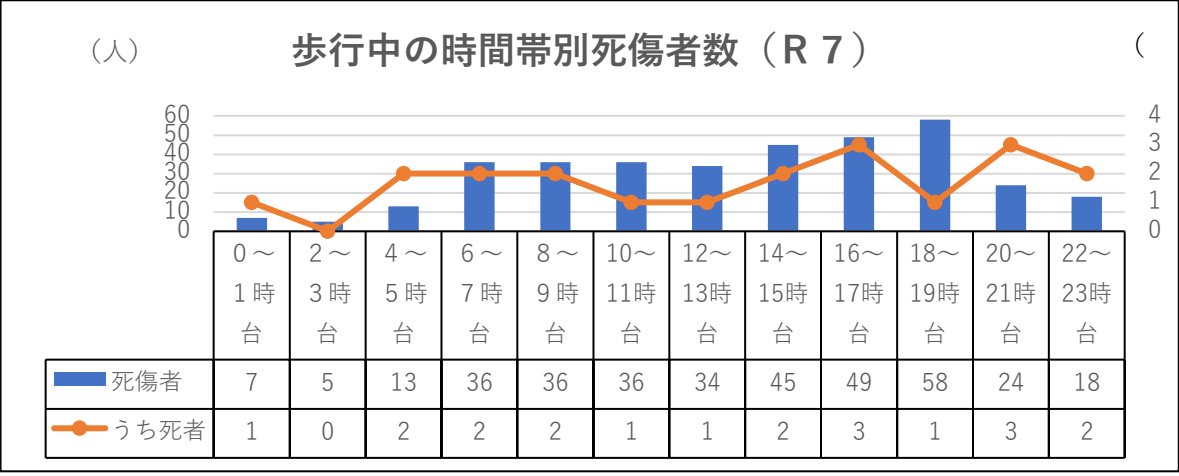


図6

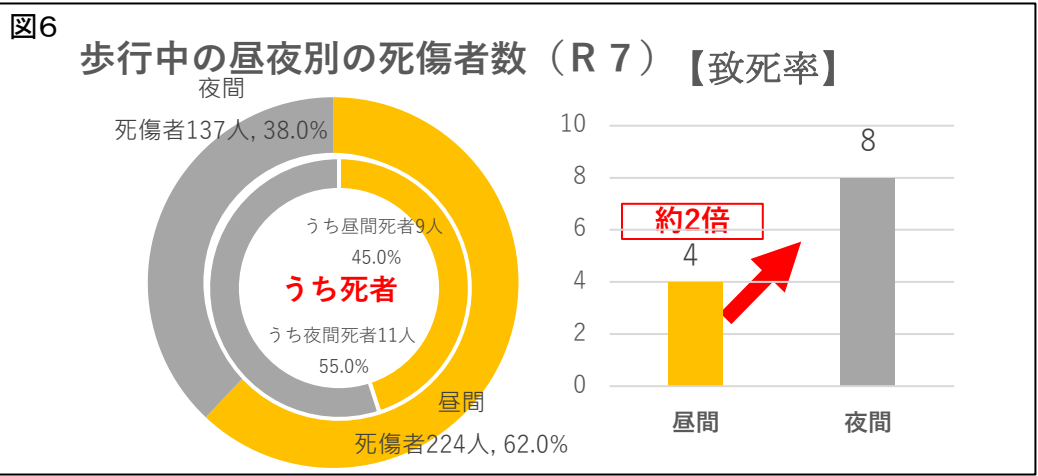


図7

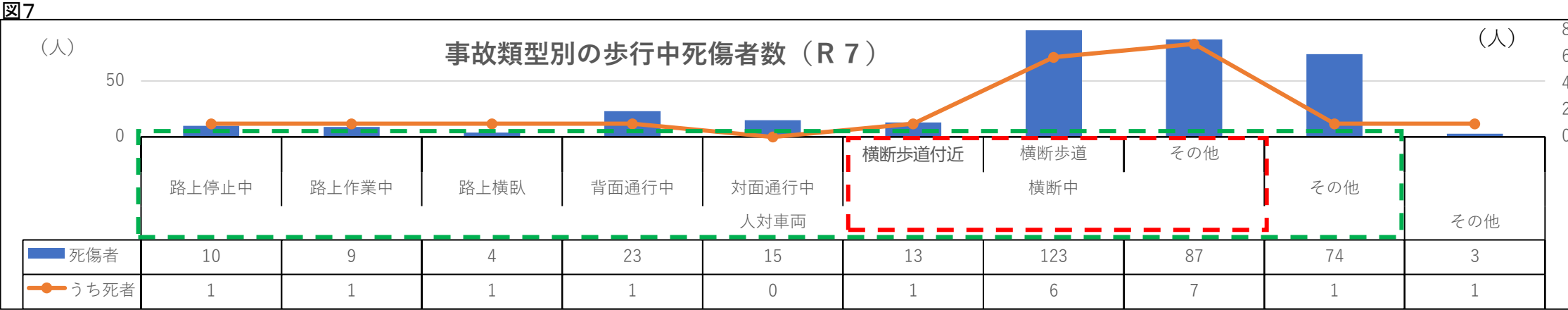
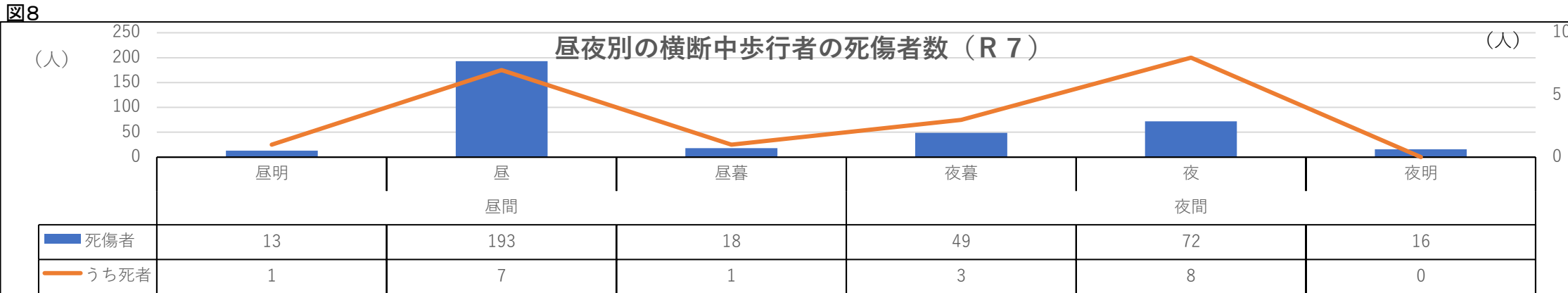


図8



注：「昼」とは、「昼明」及び「昼暮」以外の「昼間」をいい、「昼明」とは、日の出の後1時間の間（払暁時間帯）、「昼暮」とは、日の入りの前1時間の間（薄暮時間帯）をいう  
「夜」とは、「夜暮」及び「夜明」以外の「夜間」をいい、「夜暮」とは、日の入りの後1時間の間（薄暮時間帯）を「夜明」とは、日の出の前1時間の間（払暁時間帯）をいう。

図9

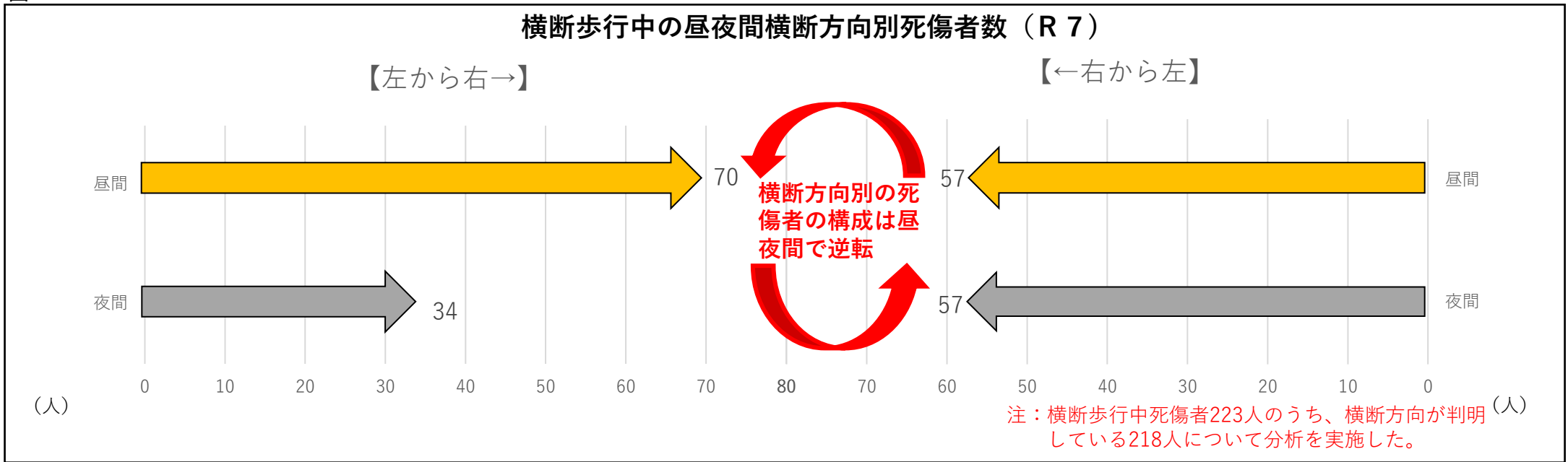
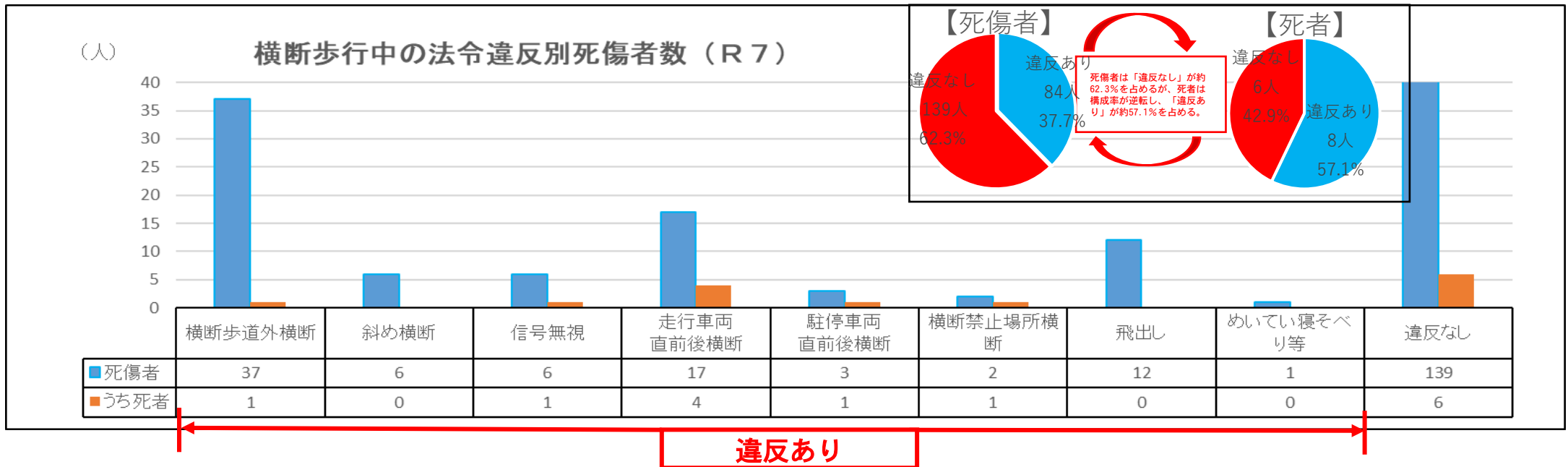


図10



## 5-1 歩行中死傷者の状況について（高齢者）

- 歩行中死者に占める割合は前年より増加し、高水準を推移している。（図1）
- 死傷者数は前年より減少したが、死者数は前年より増加する。（図2）
- 過去5年間の時間帯別の死傷者は、18～19時台が最も多く、次いで16～17時台、6～7時台の順に多い。（図3）
- 過去5年間の事故類型別の死者は、横断歩行中が全体の約71.2%を占める。（図4）
- 過去5年間の横断方向別の死者は、右から左が多い。（図5）

図1

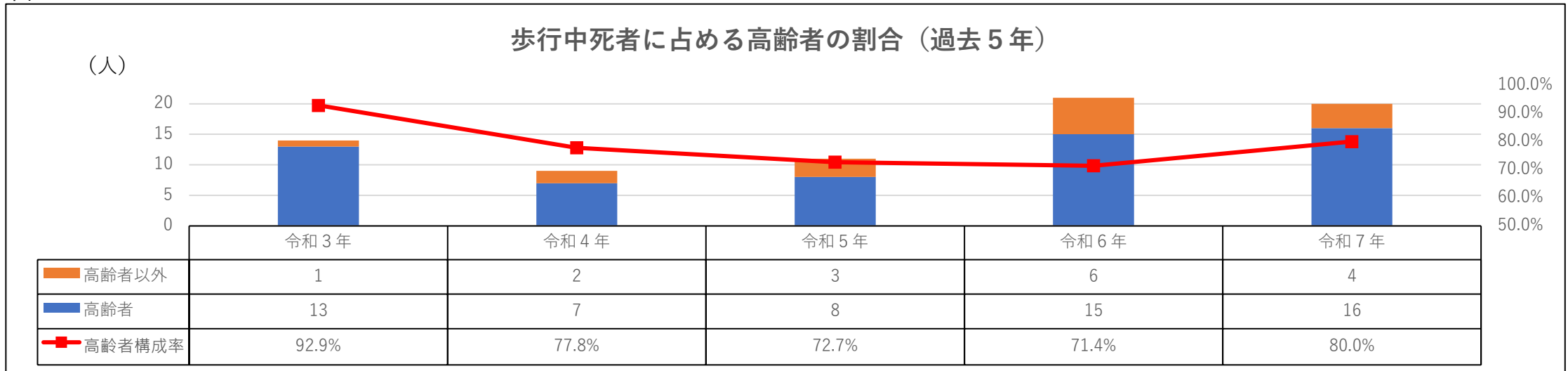


図2

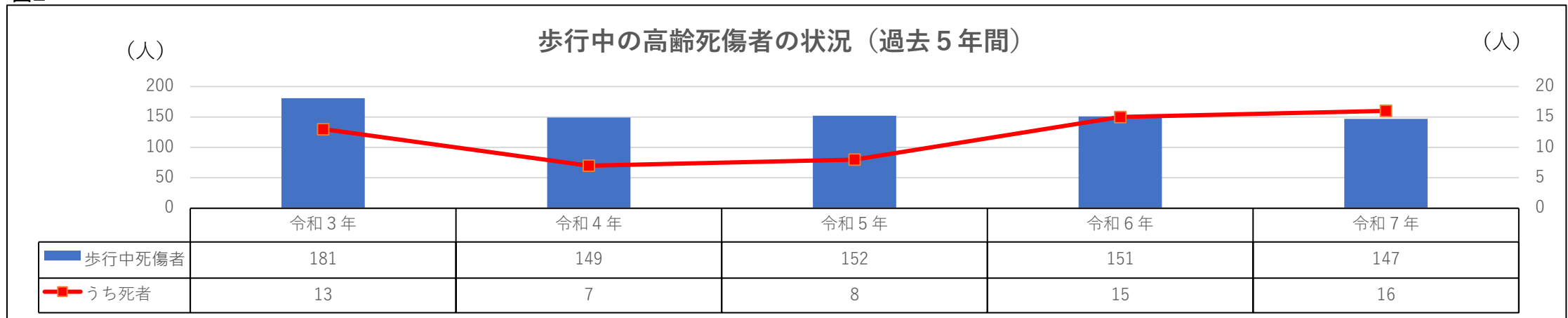


図3

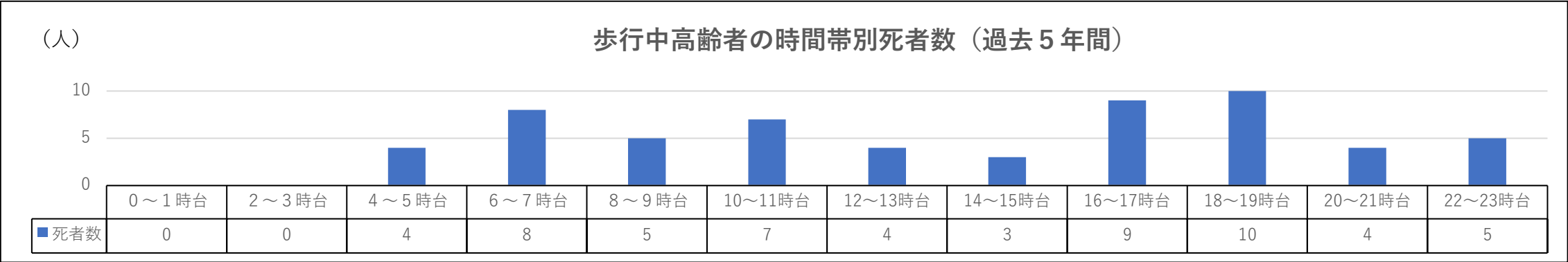


図4

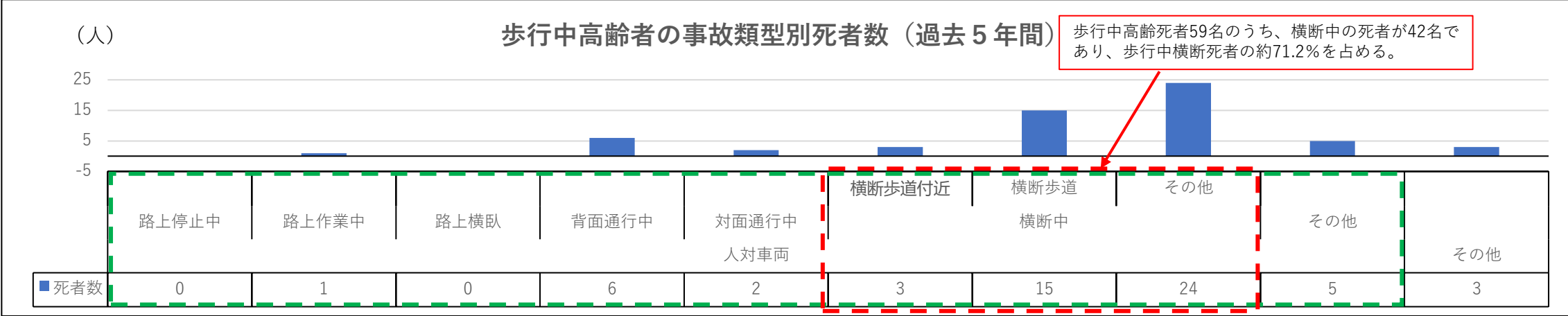
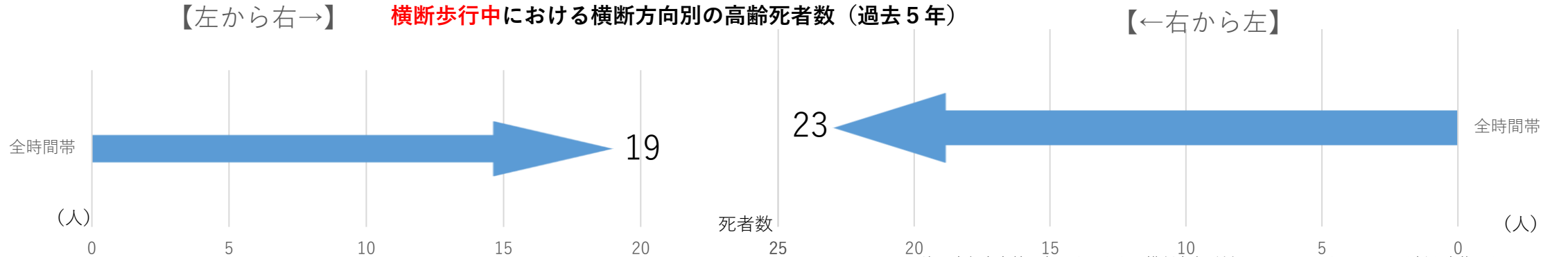


図5



注：歩行中高齢死者59人のうち、横断方向が判明している42人について分析を実施した。

## 6 こどもの事故の状況について

- 死者数は前年と比べ減少し、死傷者数は増加する。（図1）
- 年代別の死傷者は、小学生が多い。（図2）
- 時間帯別の死傷者は、16～17時台が最も多く、次いで14～15時台が多い。（図3）
- 状態別の死傷者は、歩行者等と自動車同乗中が53人で同数である。（図4）
- こどもの歩行中死傷者のうち、横断歩行中死傷者が約71.7%を占める。（図8）
- 横断歩行中のこどもの死傷者のうち、小学1～3年生が約60.5%を占める。（図9）

図1

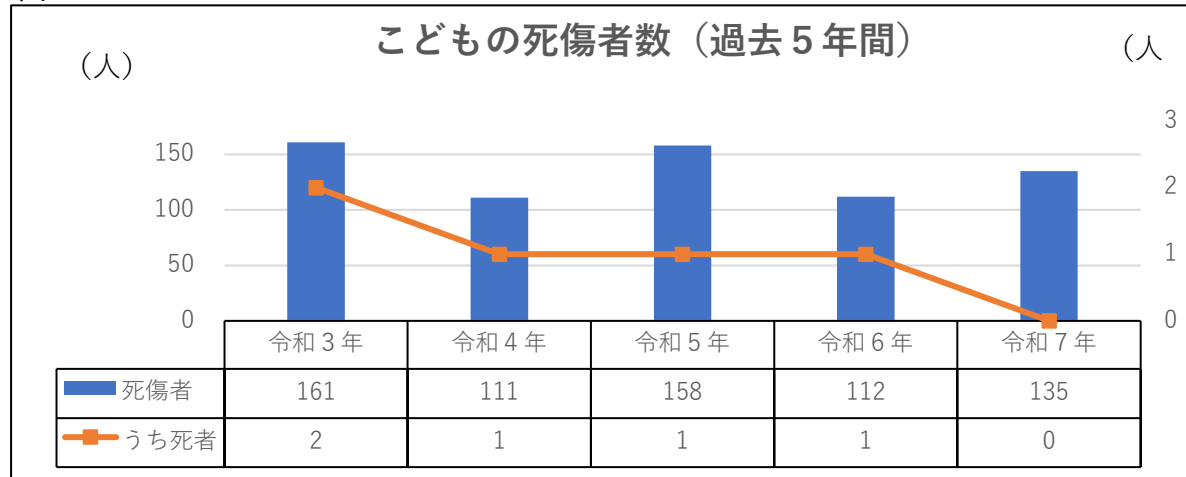


図2

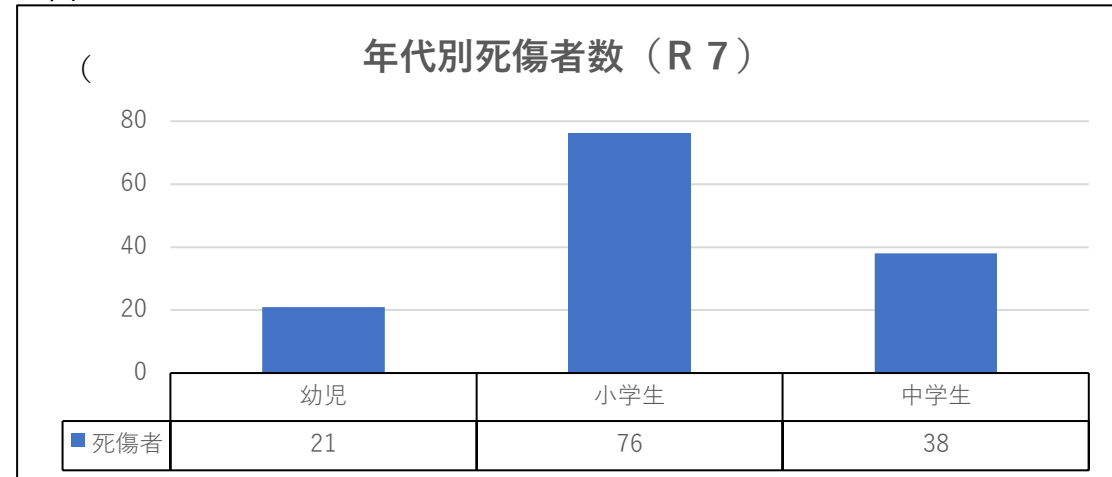


図3

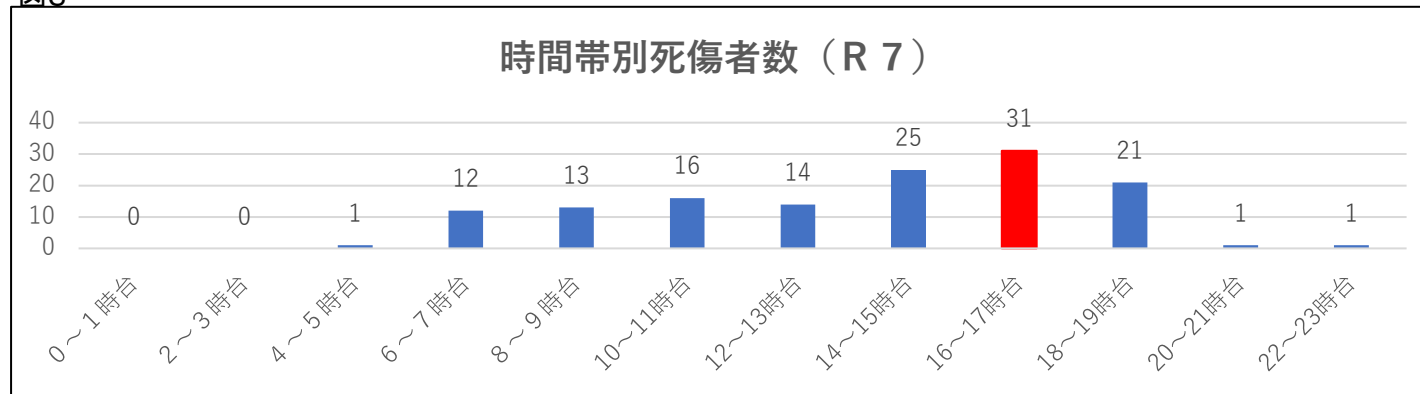


図4

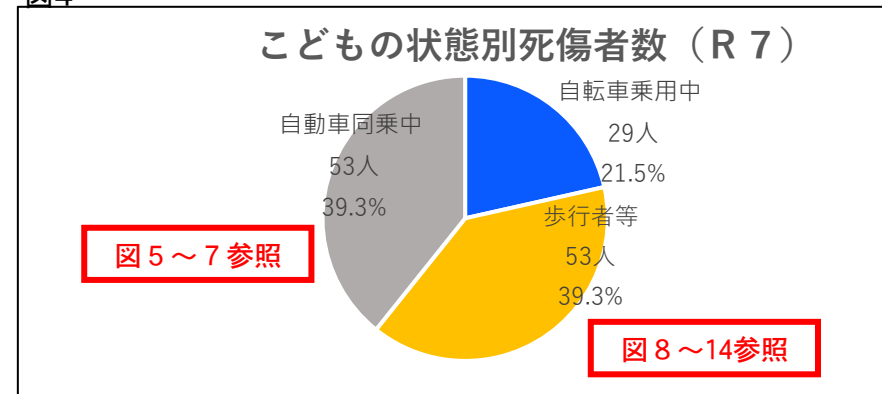


図5

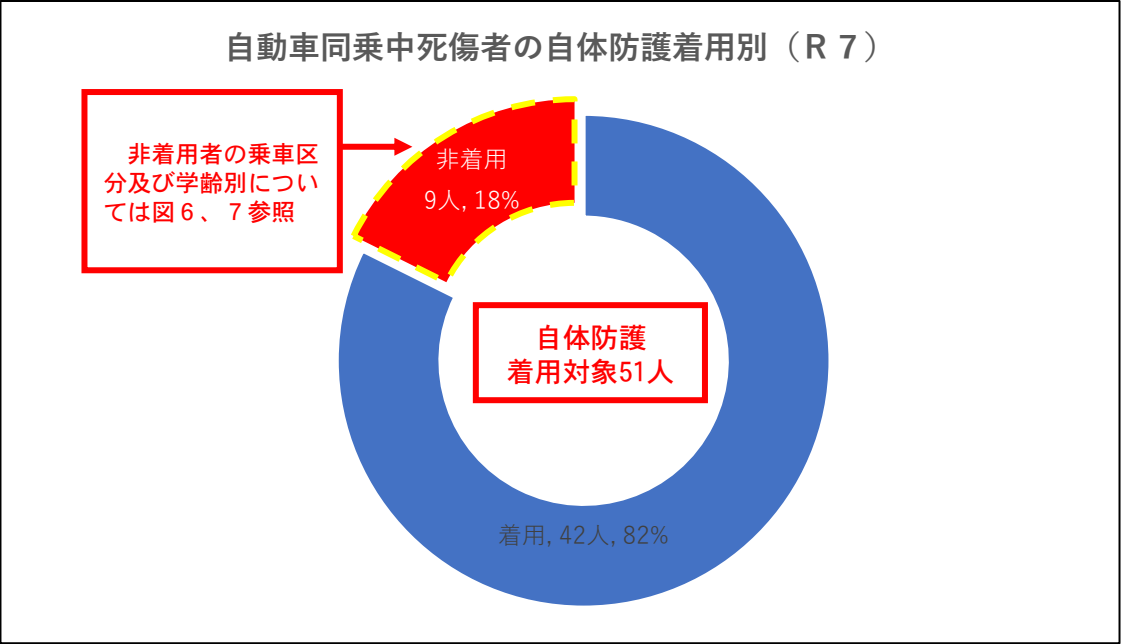


図6

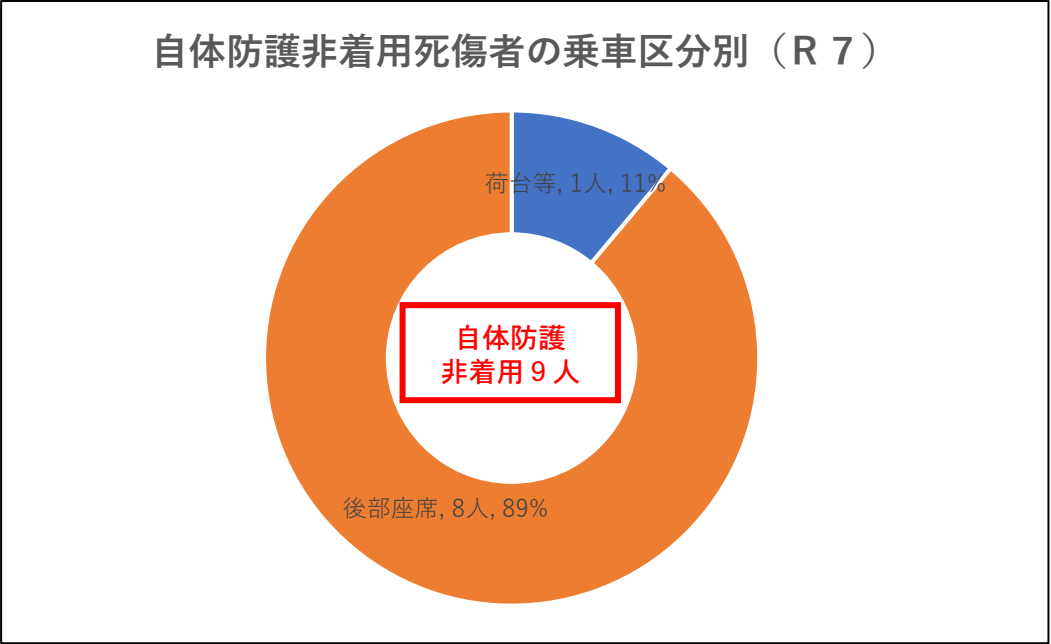


図7

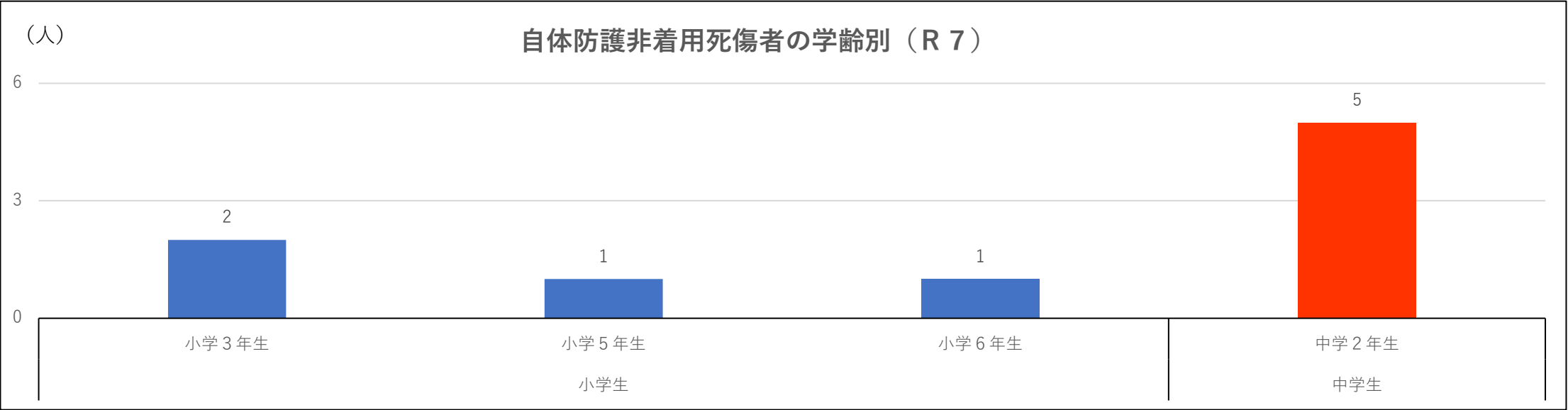




図8

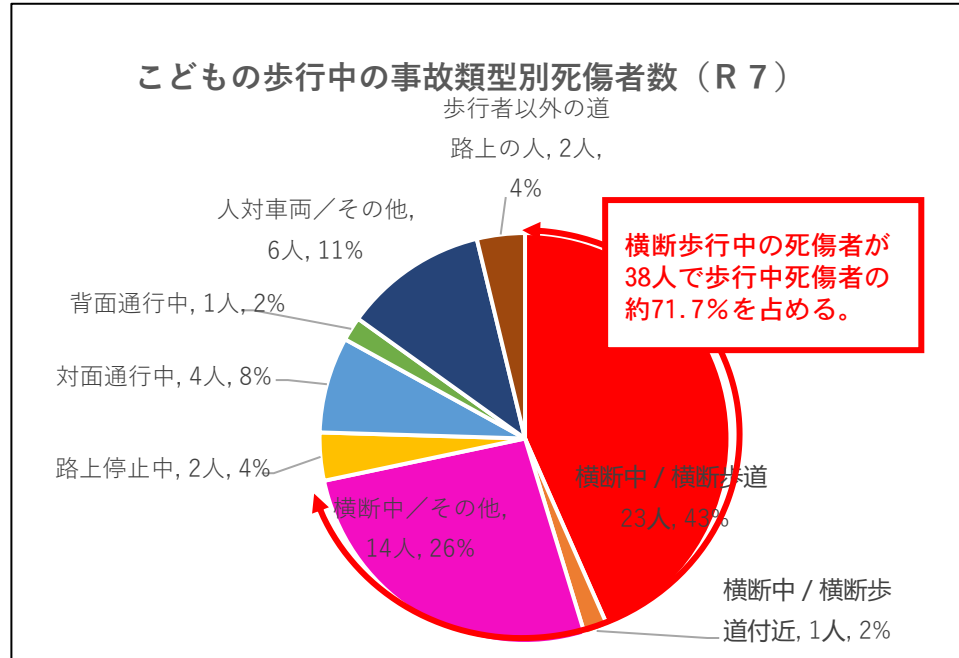


図9

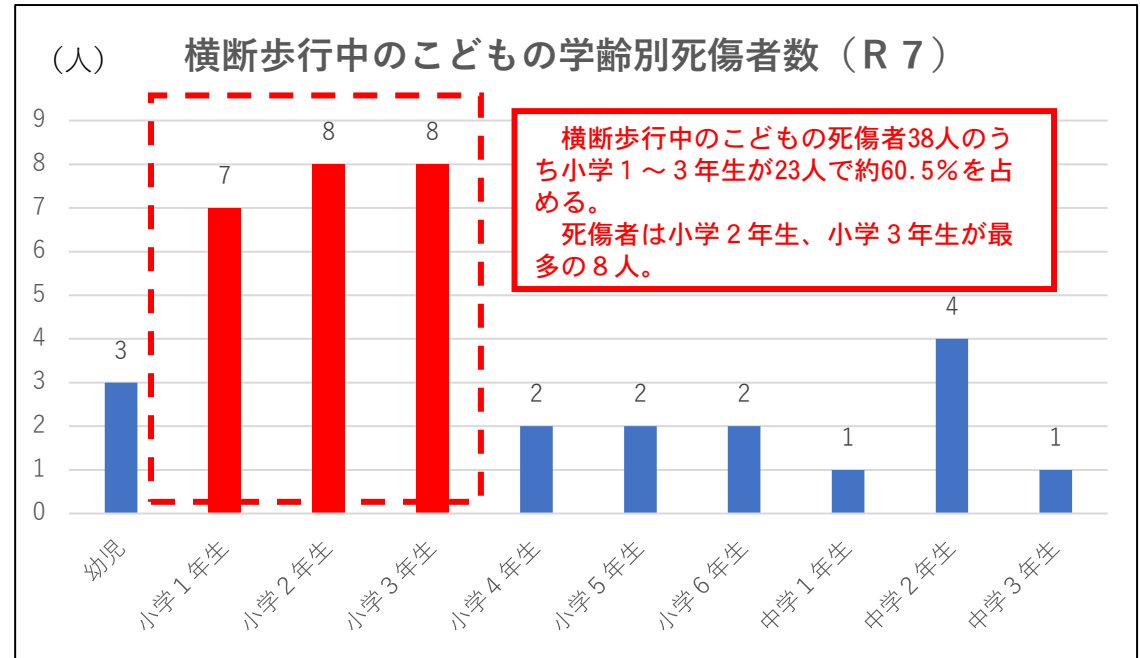


図10

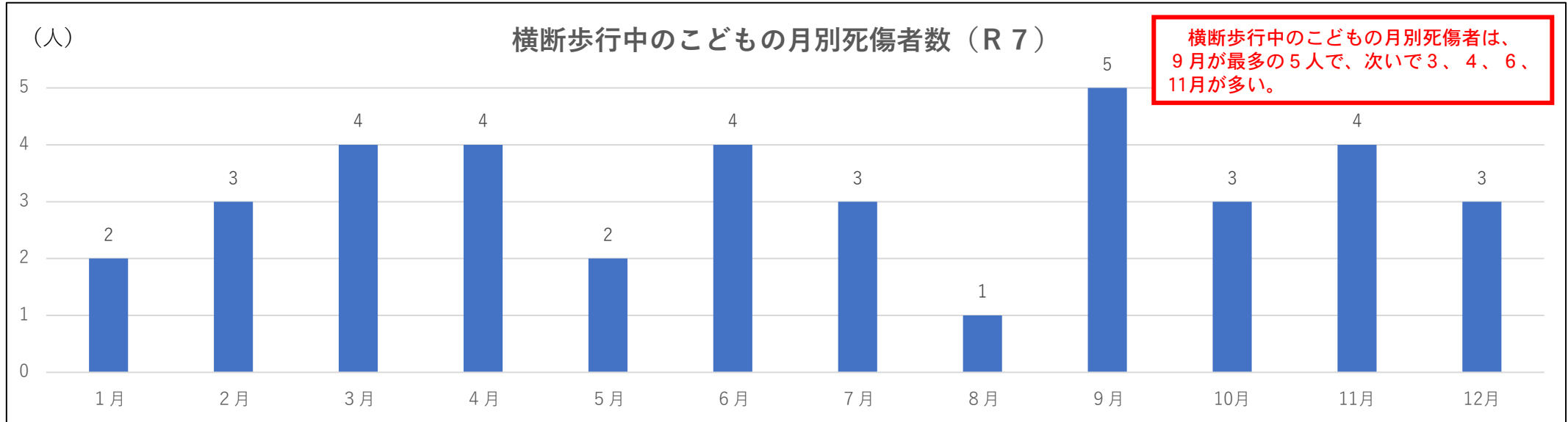


図11

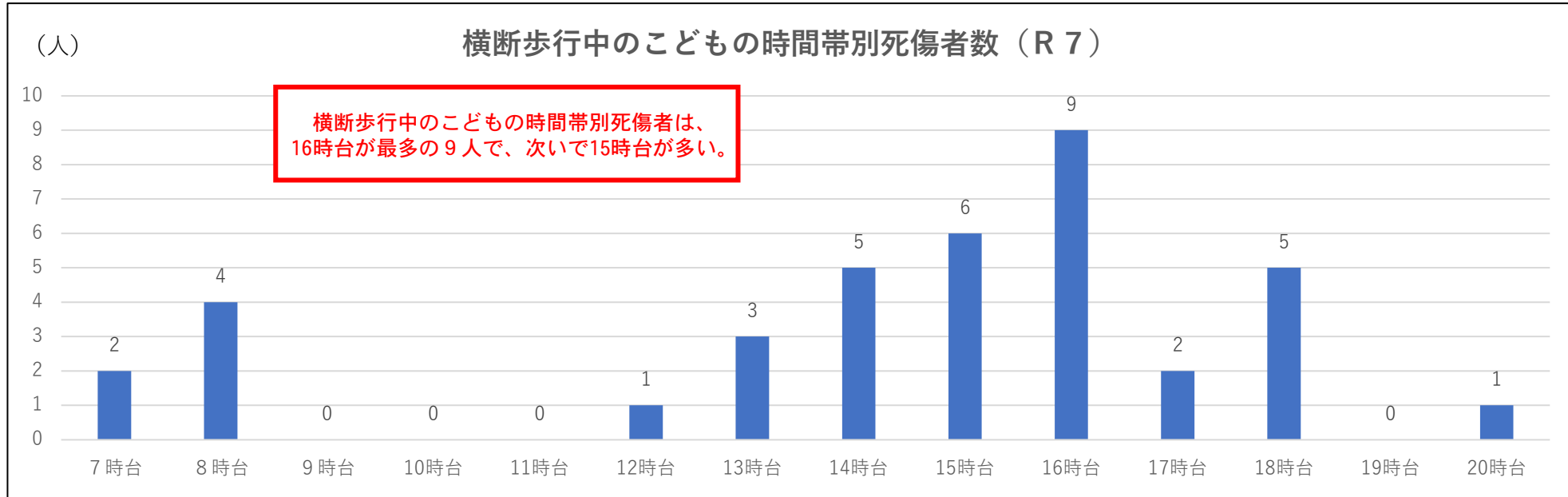


図12

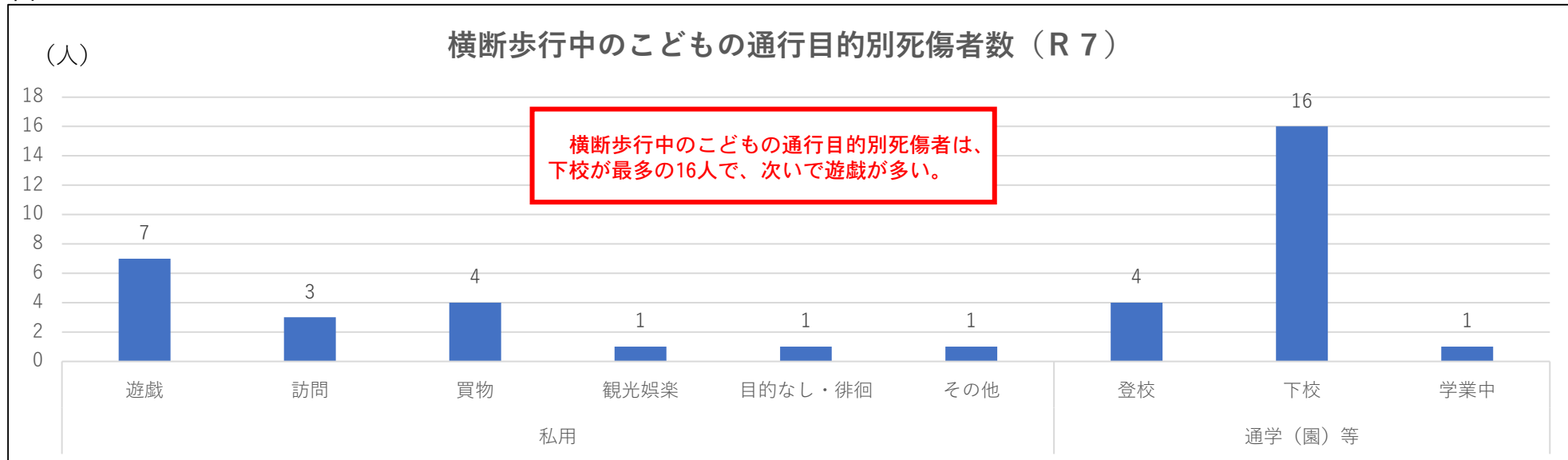
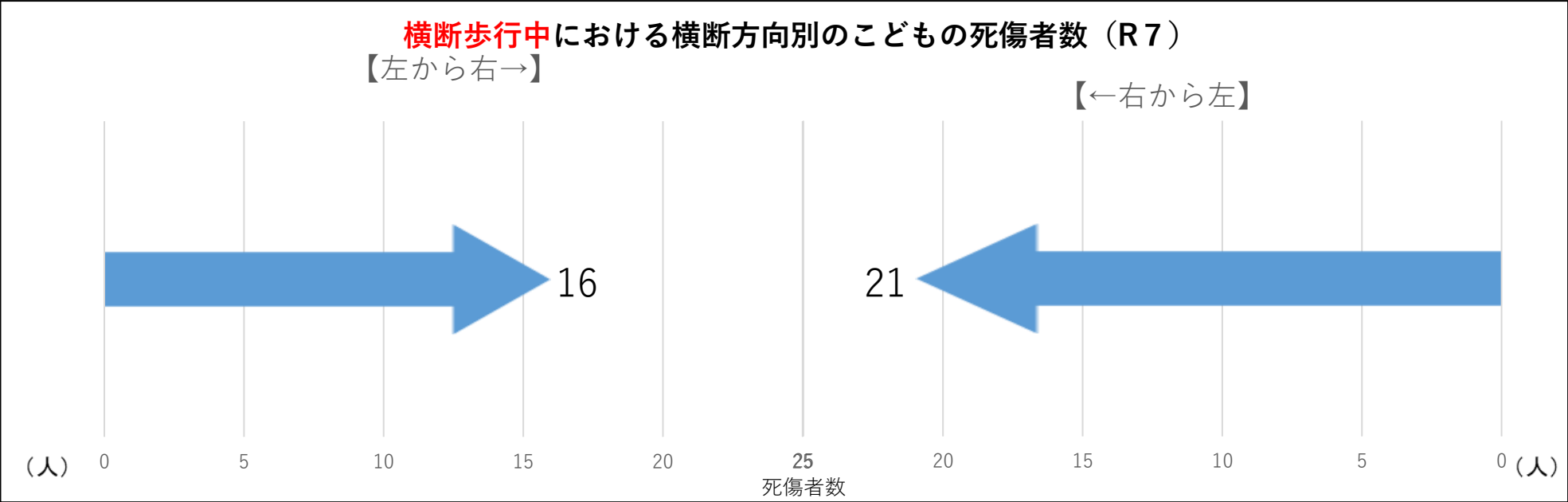


図13



図14



## 7 反射材着用状況について

- 夜間歩行中の死傷者全体の約**94.2%**が**反射材非着用**である。（図1、表1）
- 全体、高齢者ともに非着用の割合は、前年に比べ**減少**する。（図1、表1、2）

図1

夜行反射材非着用率（夜間歩行中死傷者）（過去5年間）

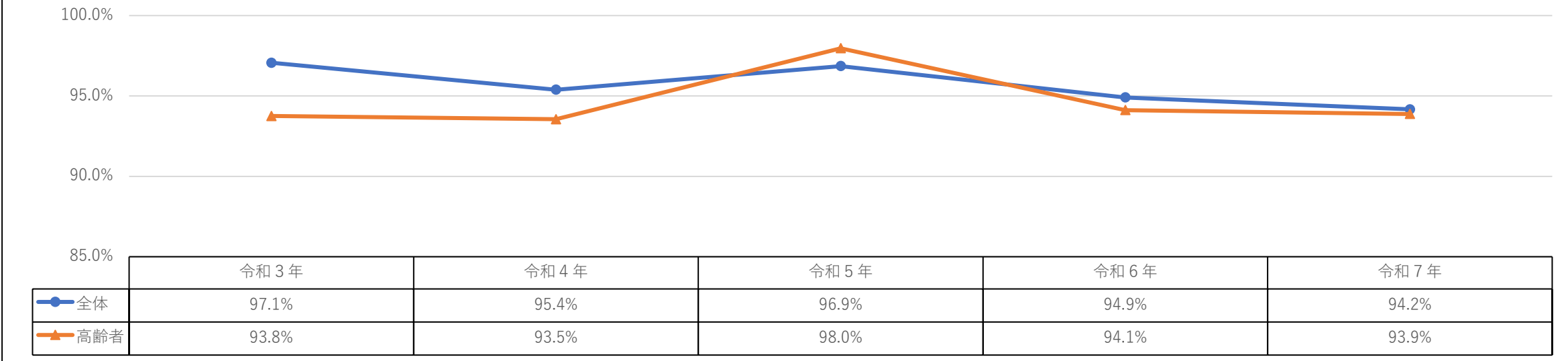


表1 夜間歩行中死傷者（全体）

全体	死傷者総数	反射材あり	反射材なし	非着用率
R3	136	4	132	97.1%
R4	130	6	124	95.4%
R5	159	5	154	96.9%
R6	157	8	149	94.9%
R7	137	8	129	94.2%

表2 夜間歩行中死傷者（高齢者）

高齢者	死傷者総数	反射材あり	反射材なし	非着用率
R3	48	3	45	93.8%
R4	62	4	58	93.5%
R5	49	1	48	98.0%
R6	51	3	48	94.1%
R7	49	3	46	93.9%

## 8 高齢運転者事故（第1当一般原付以上）の状況について

- 年齢層別の第1当事故件数は、前年より70～74歳、75～79歳の年齢層で増加し、他の年齢層は減少する。（図1）
- 年齢層別の事故全体に占める構成率は、前年より65～69歳、70～74歳、75～79歳で増加し、80歳以上の年齢層は減少する。（図2）
- 高齢運転者（第1当一般原付以上）による交通事故は19件で、交通事故全体の約47.5%を占める。（図3）
- 高齢運転者（第1当一般原付以上）による交通事故の法令違反別（過去5年間）では、操作不適が最も多く、次いで前方不注意となっている。（図4）

図1

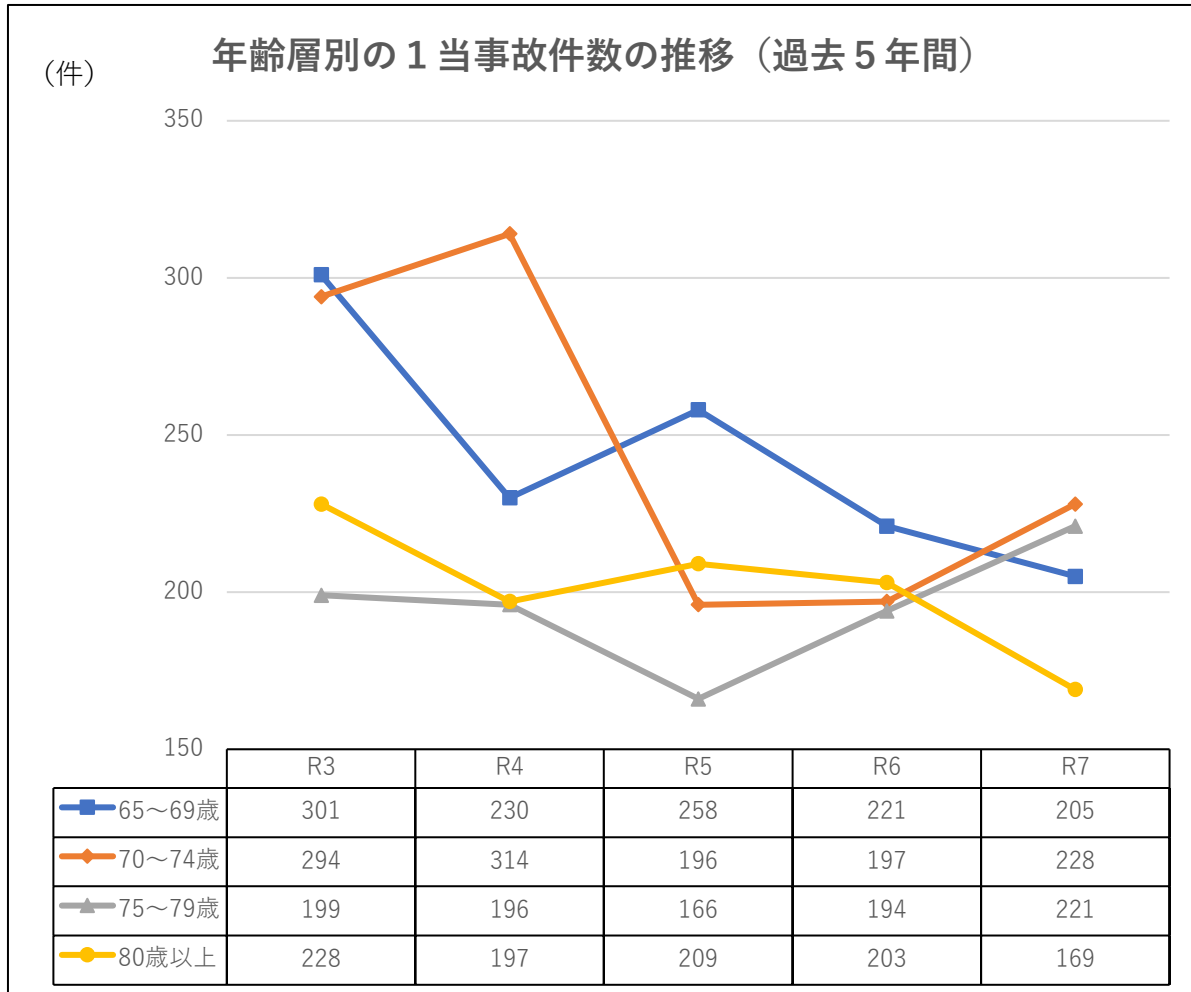


図2

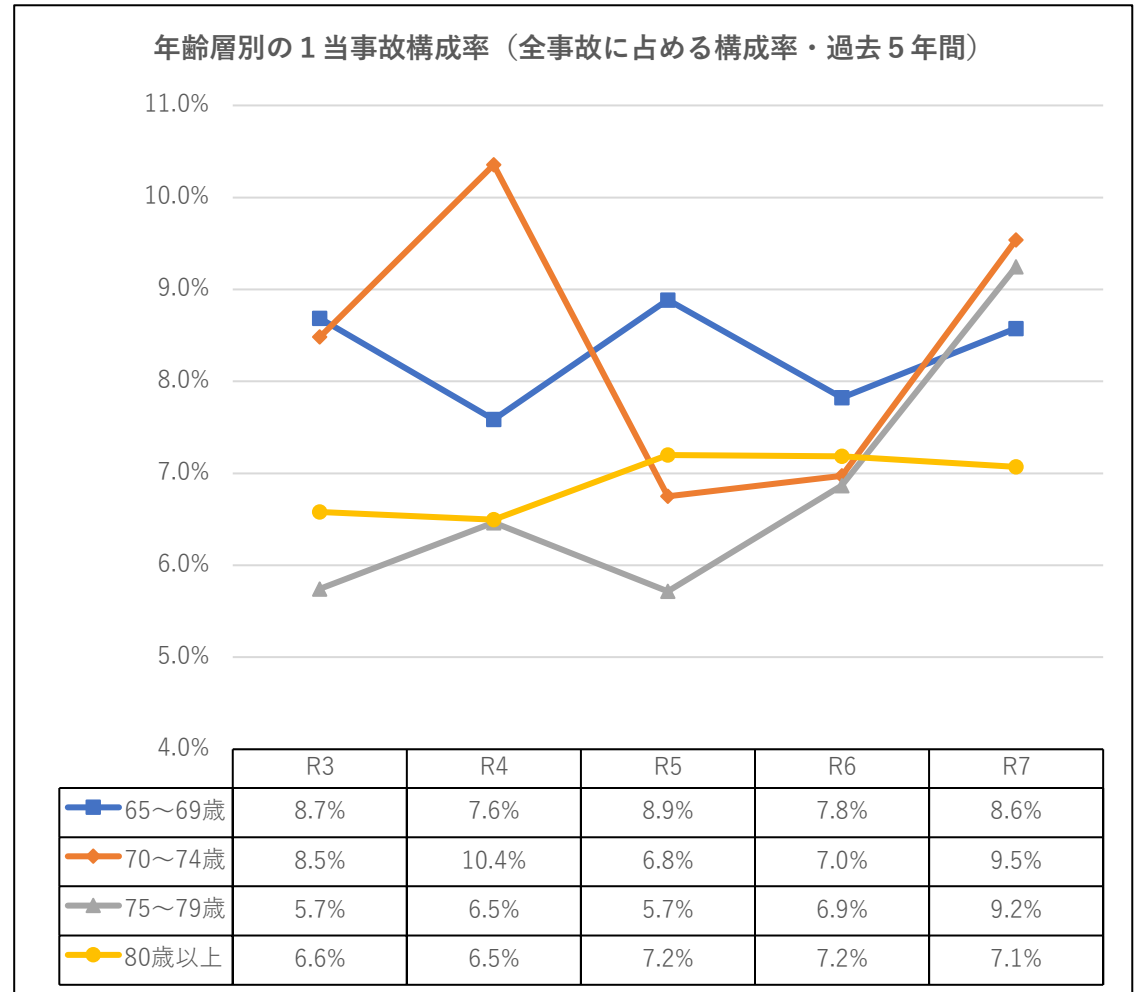


図3

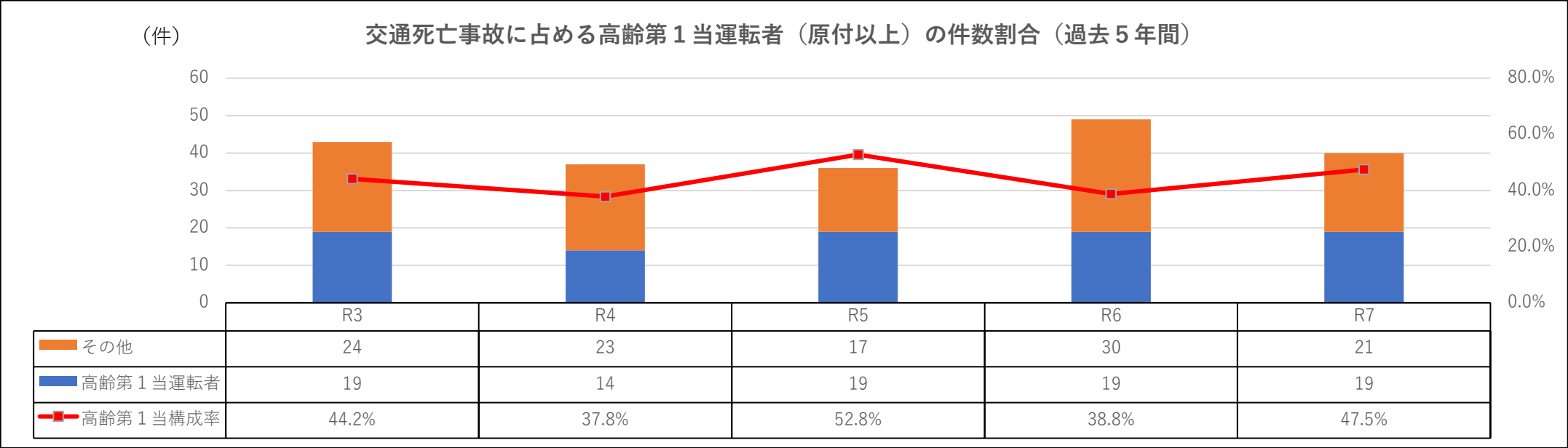


図4

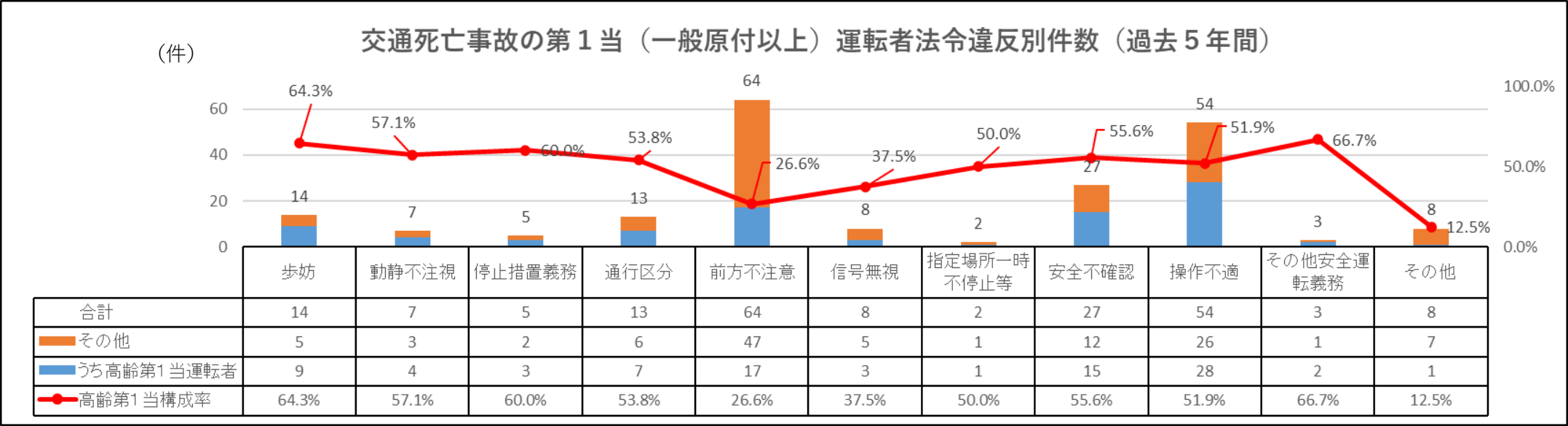


図5

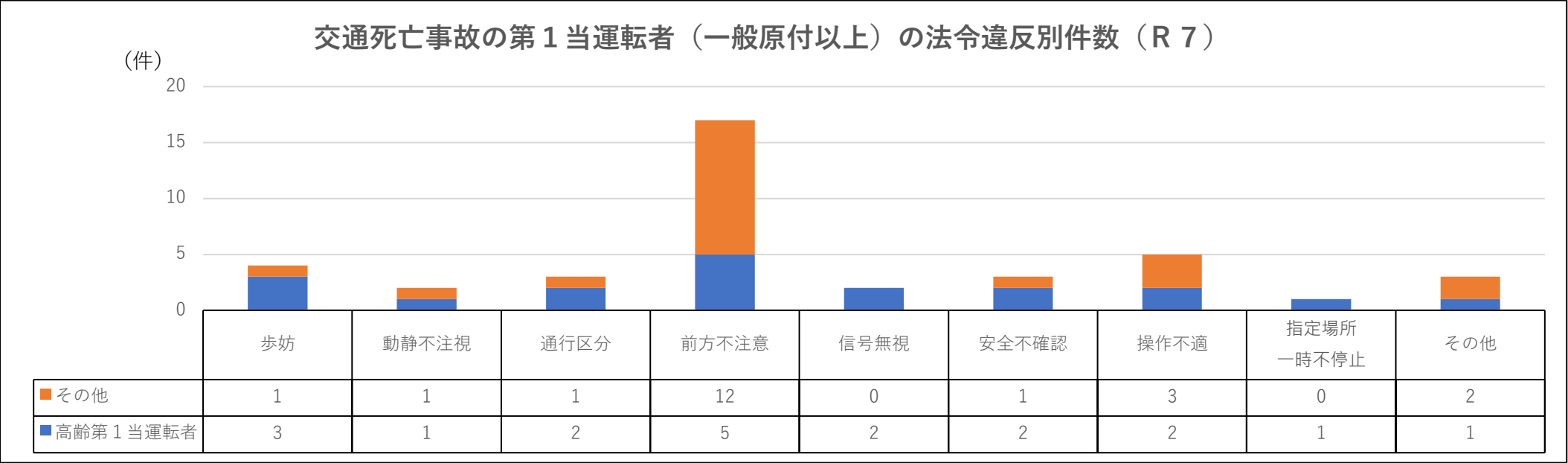


図6

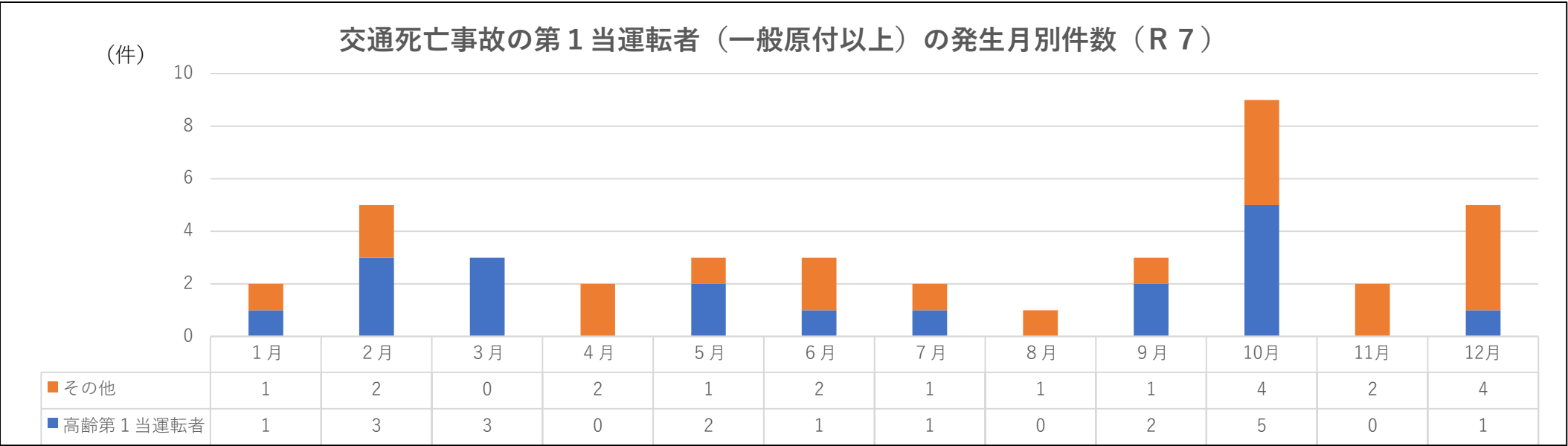


図7

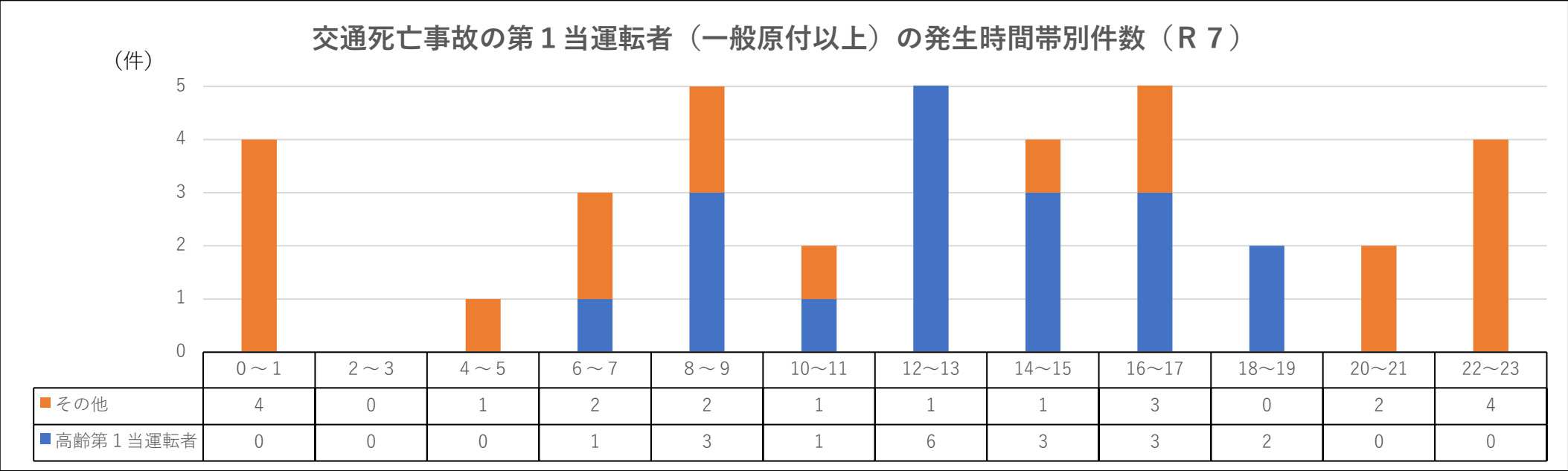
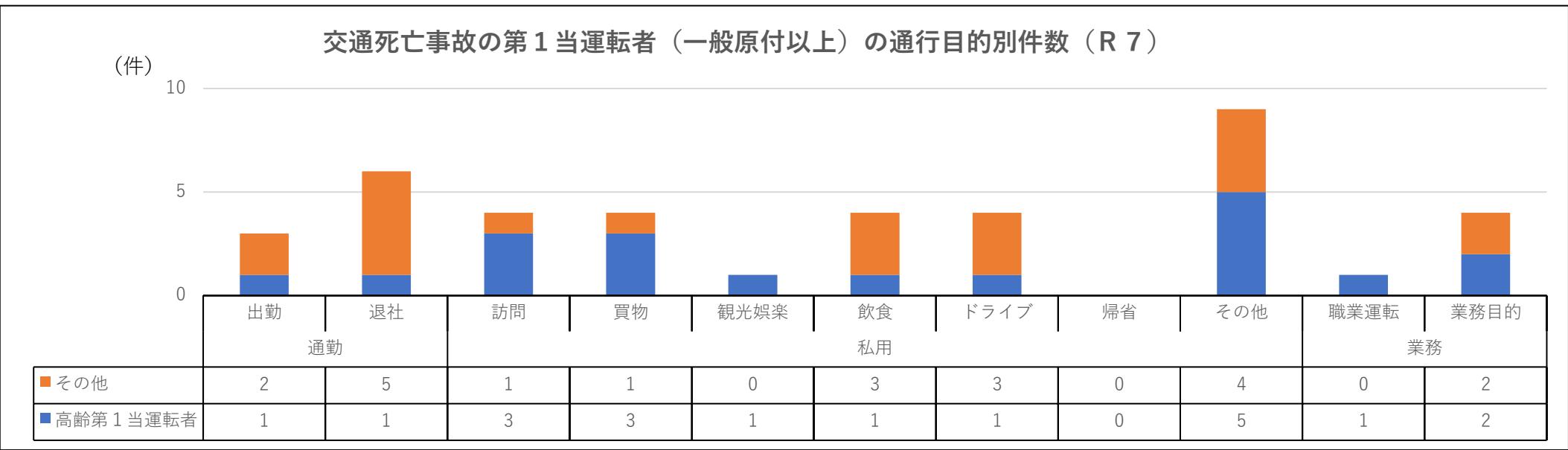


図8





## 9 飲酒運転事故（第1当一般原付以上）の状況について

- 発生件数、死者数ともに前年より減少する。（図1）
- 発生曜日は日曜日が最も多く、次いで土曜日が多い。（図2）
- 発生時間帯は2～3時台、4～5時台が最も多い。（図3）
- 車種別では普通乗用、軽四乗が多い。（図4）

図1

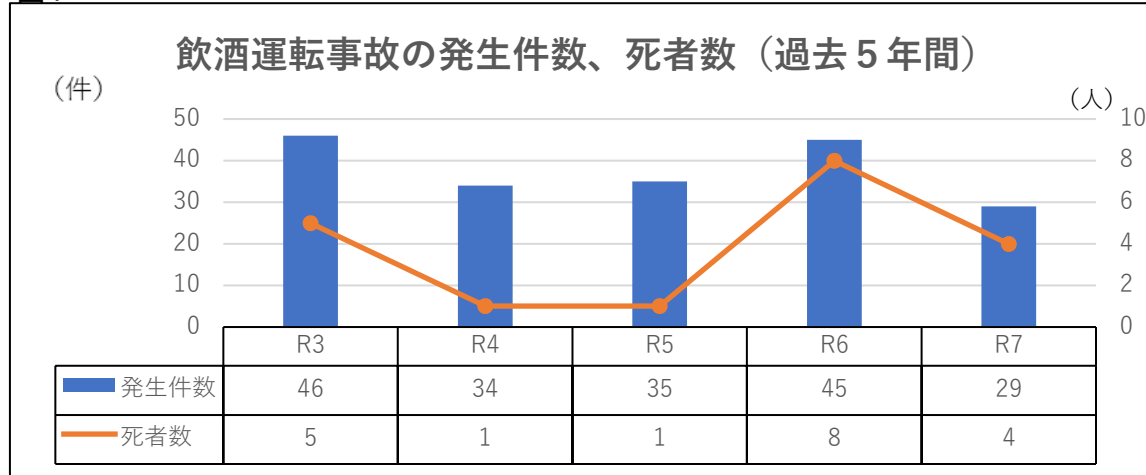


図2

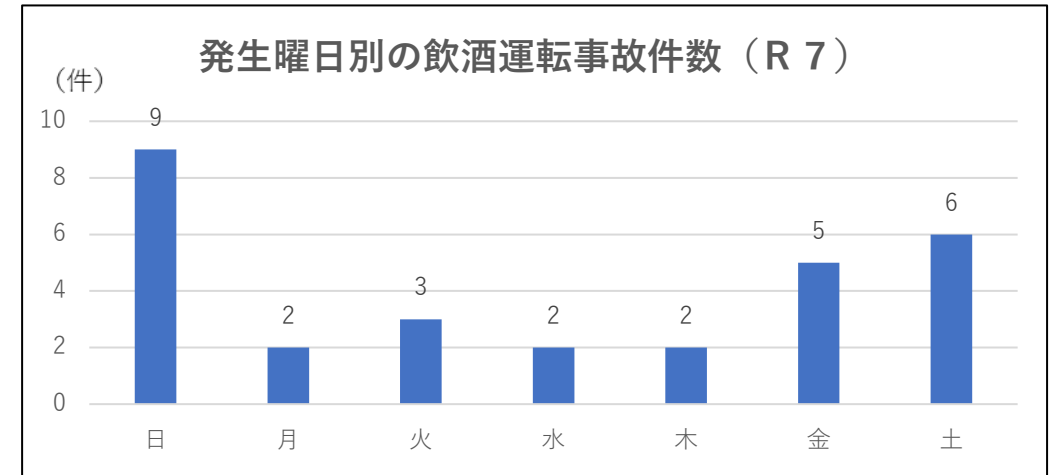


図3

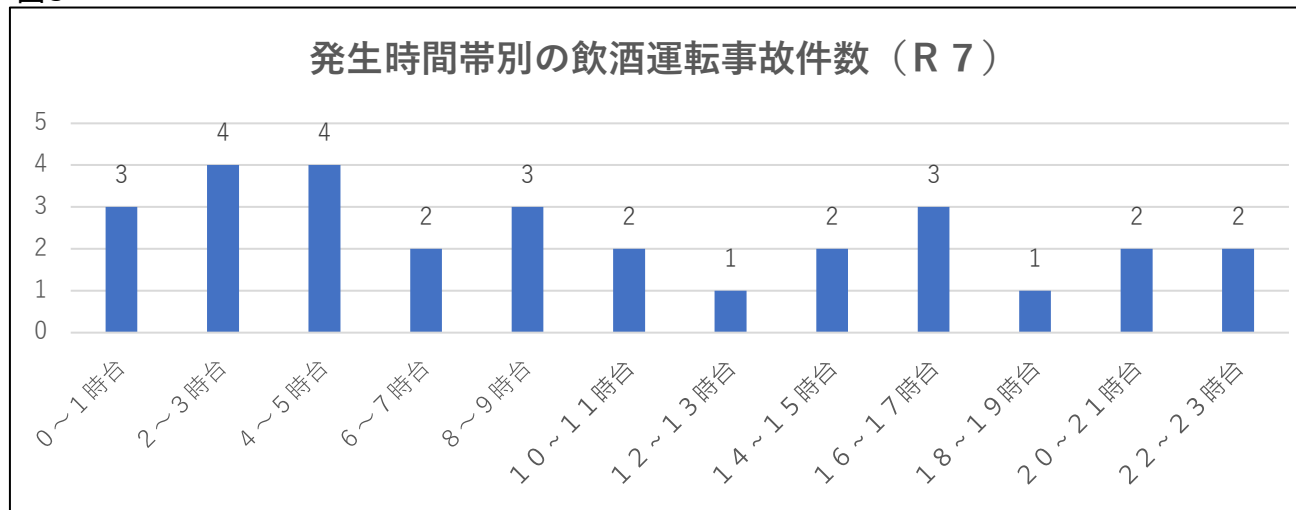
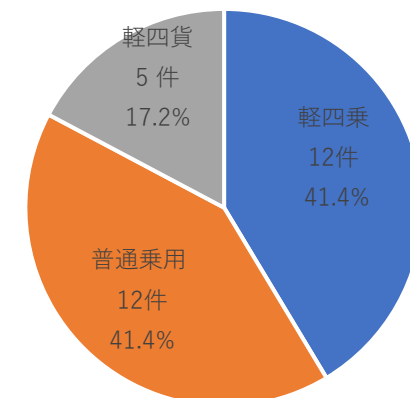


図4

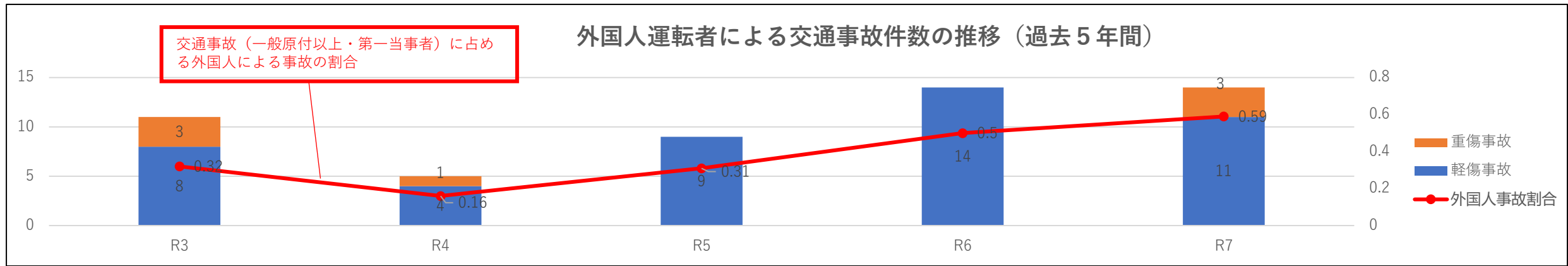
車種別の飲酒運転事故件数（R7）



# 10 外国人運転者事故の状況について

- 外国人運転者による交通事故の発生件数は、令和7年は前年と同数の**14件**である。（図1）
- 過去5年間の国籍（地域）別の外国人運転者の構成率は、**中国、フィリピン、ベトナム、朝鮮・韓国**、が全体の**約7割**（図2）
- 外免切替が**22件**で全体の約4割（図3）

図1



(注)・第1当事者が一般原付以上の外国人（日本国籍以外の者をいい、無国籍の者、国籍不明を含む、以下同じ。）の件数である

図2 国籍（地域）別外国人運転者による交通事故件数（過去5年間）

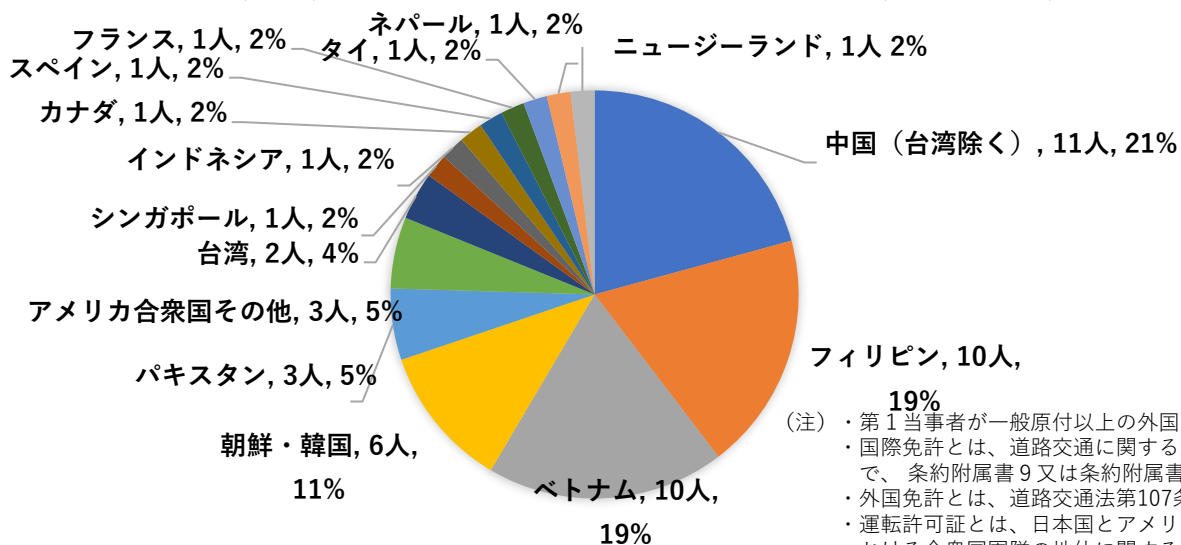
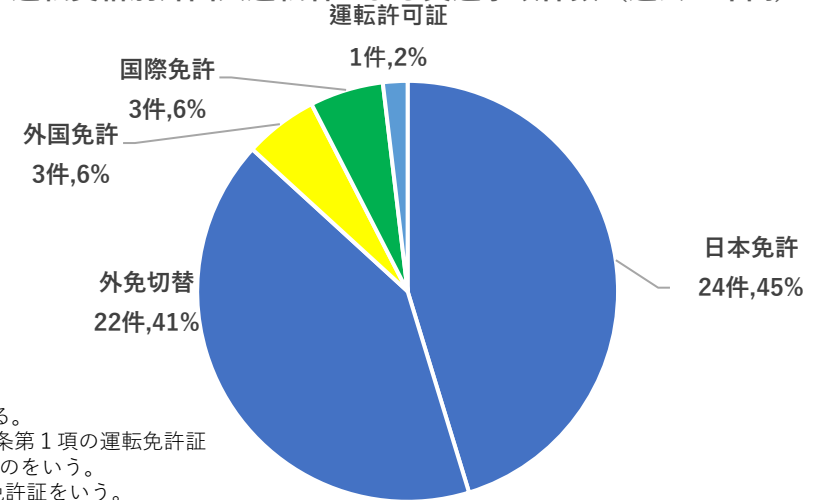


図3

運転資格別外国人運転者による交通事故件数（過去5年間）



(注)・第1当事者が一般原付以上の外国人運転者による事故件数である。  
 ・国際免許とは、道路交通に関する条約（ジュネーブ条約）第24条第1項の運転免許証で、条約附属書9又は条約附属書10に定める様式に合致したものをいう。  
 ・外国免許とは、道路交通法第107条の2に規定される外国運転免許証をいう。  
 ・運転許可証とは、日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定第10条1に規定される合衆国軍隊の構成員及び軍属並びにそれらの家族に対して発給した運転許可証若しくは運転免許証又は軍の運転免許証を所持している者をいう。

# 11 自転車関連事故の状況について

- 自転車関連死亡重傷事故件数は平成28年と比較して、令和 7 年は約 4 割に減少する。（図 1）
- 年齢層は、令和 6 年までは65歳以上が多かったが、令和 7 年は19歳以下が多い。（図 1）
- 死亡重傷事故に占める自転車関連死亡重傷事故件数の割合は令和 7 年は過去10年で 2 番目に少ない。（図 2）
- 相手当事者別の自転車関連死亡重傷事故件数は、対自動車が約 7 割を占める。（図 3）

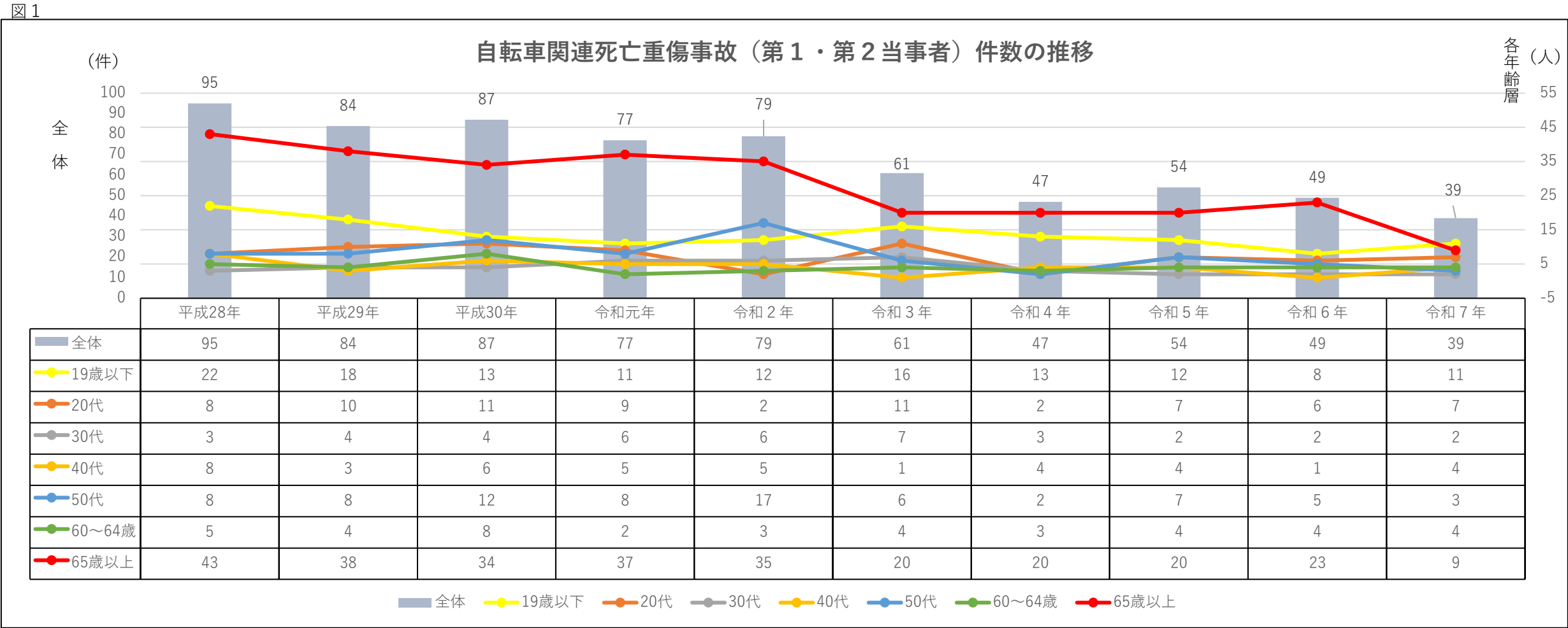


図 2

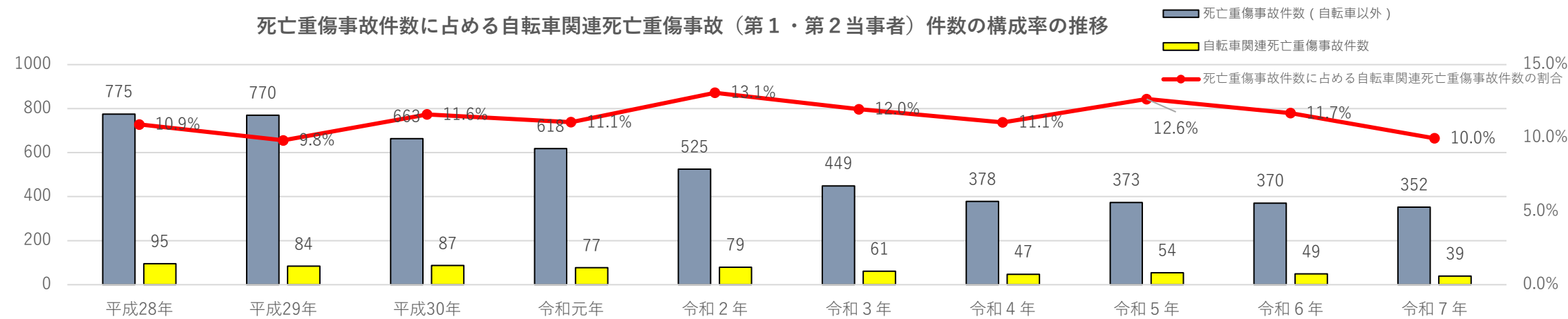
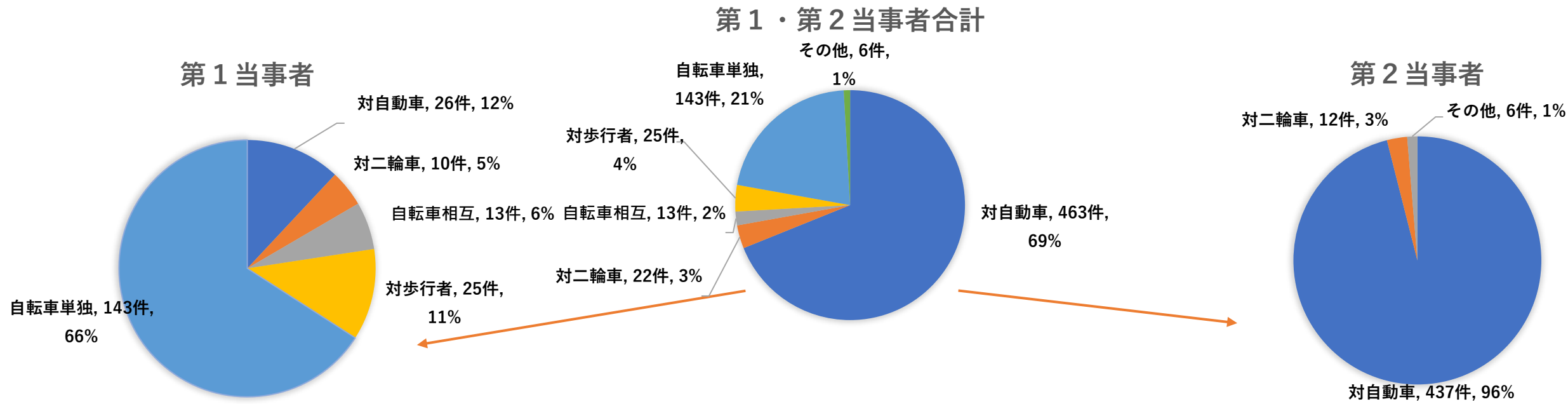


図 3

相手当事者別の自転車関連死亡重傷事故（第1・第2当事者）件数（過去10年間）



※ 自転車乗用者が第1当事者又は第2当事者となった事故件数であり、自転車乗用者の相互事故は1件とし、第1当事者の件数を計上。